

日本キャリア・カウンセリング学会

第 30 回記念大会プログラム

社会インフラとしての キャリア × カウンセリング

— プロフェッショナルとしての限界突破・ふかめ・ひろげる —



November 2025
30th Conferences

2025/11/ 22^土 23^日

帝京平成大学池袋キャンパス



一般社団法人 日本キャリア・カウンセリング学会

Japanese Association of Career Counseling

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第30回記念大会

2025年11月22日(土)・23日(日)

社会インフラとしてのキャリア×カウンセリング
～プロフェッショナルとしての限界突破・ふかめ・ひろげる～

会場：帝京平成大学 池袋キャンパス

大会特設サイト：<https://jacc-conf.info/30th/>



大会参加申込要領（チケット予約）

1. チケット販売期間

2025 年 6 月 10 日（火）～ 2025 年 11 月 20 日（木）

※ 9 月 30 日(火)23:59 までは**早期割引期間**となります。

※ 大会当日にチケットを購入して参加することはできません。チケット販売期間中にご購入ください。

※ 決済完了後は原則としてキャンセル（払い戻し）できません。

※ 録画アーカイブの公開期間：2025 年 12 月中旬～2026 年 3 月 31 日まで。

2. 申込方法

原則チケットは予約制です。大会申込サイト Confit より、事前にチケットをお買い求めください。

Confit からログイン／登録 <https://jacc.confite.atlas.jp/login>

3. 参加費用

参加費用には大会当日の会場および Zoom での参加費用と大会終了後の、アーカイブ視聴費用を含みます。本大会の大会プログラム・論文集は、PDF 形式でのダウンロード配布とさせていただきます。製本された冊子の郵送・配布は致しませんので、予めご了承ください。

区分	早割(～9/30)	参加費用(10/1～)
本学会正会員	5,000 円	8,000 円
本学会賛助会員	6,000 円	9,000 円
非会員	7,000 円	10,000 円
学生	3,000 円	4,000 円

●9 月 30 日までは早割期間となります。

●学生・大学院生の方は会員・非会員・賛助会員を問わず「学生」区分をお選びいただけます。（社会人学生・社会人院生の方も含みます）

●以下の本学会賛助会員（法人会員）に所属する社員・会員の方は「賛助会員」区分でのお申し込みが可能です。

一般財団法人 ACCN（ACCN 会員を含む）、公益財団法人関西カウンセリングセンター、特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会、中央職業能力開発協会、特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（CDA 会員を含む）、株式会社日本・精神技術研究所、株式会社日本マンパワー、一般社団法人ライフデザインカウンセリング研究所（団体・企業名称 50 音順）

4. その他

●大会は、現地参加・オンライン配信・後日アーカイブ公開を組み合わせたハイブリッド形式で実施いたします。現地会場では、講演・セッションの様子を録画・配信いたしますため、会場内の映像に参加者の皆さまが映り込む可能性があります。あらかじめご了承ください。

●動画の録画・撮影・転載を禁じます。また、大会で紹介される事例につきましては、内容に関する守秘の厳守をお願いします。

●インターネット環境に関する不具合は、主催者側・講師側では対応致しかねます。各自インターネット環境の調整をお願いいたします。

目 次

第 30 回記念大会の開催にあたって	1
会場アクセス（現地会場について）	3
フロア MAP	4
大会参加者へのご案内（Zoom について）	5
第 30 回記念大会 タイムテーブル	6
基調講演	8
第 30 回記念大会特別企画	9
大会シンポジウム	10
現地企画	18
委員会企画	22
オンライン交流会	38
相談サロン	39
研修会	43
表彰式	47
昨年度実践賞受賞講演	48
研究発表・実践報告・学位研究発表	49
自主シンポジウム	54
大会後援団体機関ご芳名	66
大会協賛団体ご芳名	67
大会寄付協賛団体機関ご芳名	68
大会出展団体ご芳名	68

第 30 回記念大会の開催にあたって

大会委員長 高橋 浩・馬場洋介



このたび、2025 年 11 月 22 日（土）・23 日（日）に、日本キャリア・カウンセリング学会は第 30 回という大きな節目を迎える記念大会を開催することになりました。

今年度の大会テーマは、

「社会インフラとしてのキャリア×カウンセリング
～プロフェッショナルとしての限界突破・ふかめ・ひろげる～」

です。

本学会がこのテーマを掲げた背景には、「キャリア」と「カウンセリング」をめぐる現代的課題への強い問題意識があります。

いま、私たちが支援の対象とする「キャリア」は、単なる職業選択や就業支援を超え、個人の生き方や社会的役割までも含む、広い概念として定義されています。

一方で、それを支える「カウンセリング」は、単なる手法や技法ではなく、多様な価値観や社会的背景を尊重した柔軟な対話の姿勢として、より深化した関わりと展開が求められています。

私たちは、既に支援対象を「産業」から「キャリア」と拡大してきましたが、「カウンセリング」という支援の在り方についてもより深めていくと同時に、広く展開していく必要性を感じています。そのような知的・実践的な探究の場を、多様な立場の皆さまと共に創出したいと考えています。

本学会は、キャリア支援やカウンセリングに携わるすべての実践者、研究者、教育者、そして支援を志す皆さまにひらかれた場です。

日本キャリア・カウンセリング学会の会員であるかどうかに関わらず、企業・教育・医療・福祉・地域・行政など、さまざまな現場で人の成長や自立を支えている皆さまにも、ぜひご参加いただきたいと願っております。

今回の第 30 回記念大会では、国際的に高名な「ブルスティン先生」の特別記念講演（オンライン）をはじめ、「廣川進先生」の基調講演、4 つの大会企画シンポジウム、研究発表・実践発表・学位研究発表、委員会企画、研修会、現地企画といった多彩なプログラムをご用意しております。

理論と実践の往還、日常と非日常の交差、専門領域を超えた対話の可能性を体感できる、濃密な時間になるはずです。現場での支援に日々向き合う皆さまにとっても、明日からの仕事や実践に活きる視点と刺激を得られる機会になると思います。

さらに本大会では、学会としての新たな「宣言」を発信いたします。

これは、支援の現場に立つ私たちが、これからの社会に対してどのような姿勢を持ち、どのような価値を届けていくのか——その決意を形にするものです。内容については 2 日目のクロージングセッ

ションで発表いたします。どうぞ楽しみにお待ちください。

30年の歩みを振り返りつつ、次の時代に向けたまなざしを共有する。

キャリアという人間の営みと、カウンセリングという支援のかたちを見つめ直すこの2日間が、皆さまにとって、領域や立場越えて「つながる・学ぶ・考える」場となれば、これほど嬉しいことはありません。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 副会長
高橋 浩（ユースキャリア研究所）

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 会 長
馬場 洋介（帝京平成大学大学院）

大会委員長：高橋 浩（ユースキャリア研究所）
大会委員長：馬場 洋介（帝京平成大学大学院）
大会副委員長：小倉 浩靖（PLAYWORK LAB, Inc.）
大会副委員長：吉川 雅也（関西外国語大学）
大会事務局長：廣田 純子（Office Citrus）
大会技術担当：大野 亮一郎（清泉女子大学）
大会会場担当：安藤 沙織（新宿しろくまカウンセリング）
大会会場担当：原 哲也（原哲也事務所）
大会パートナー：竹中 裕晃（TAKE3）

大会実行委員（50音順）：赤城 知里（川口短期大学）／磯貝 和子（株式会社SEMILLA）／加賀谷 晴美（JCC 日本キャリア・カウンセリング研究会）／門脇 尊子（全日本空輸株式会社）／亀田 修司（株式会社インソースコンサルティング）／坂井 真奈美（ブルデンシャル生命保険株式会社）／桜井 伸子（マインドテラス）／佐藤 真喜子（トレイン・ジャパン株式会社）／高崎 隆浩（就労サポートたちかわ）／長久保 逸郎（NPO 法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント）／中野 愛子（&Aco.）／中村 准子（筑波大学働く人への心理支援開発研究センター）／埴岡 知子（住友林業ホームエンジニアリング株式会社）／原 恵子（埼玉学園大学）／坂東 功規（人生旅行研究所）／藤井 将光（株式会社トリートエンドワークス）／藤田 るり子（株式会社富士通ラーニングメディア）／宮本 由美子（株式会社ビット）／村木 理乃（共立女子大学・共立女子短期大学）／山本 和美（山梨大学）／吉田 聡（三井住友トラスト・キャリアパートナーズ株式会社）／吉田 英和（株式会社電通）

フロア MAP



大会参加者へのご案内（Zoom について）

第 30 回記念大会は、以下の 2 つの形式で開催されます。

ハイブリッド

現地（帝京平成大学）のプログラムを Zoom で配信します。

現地のみ

現地で開催され、Zoom での配信はありません。

【オンラインでの視聴方法】

オンライン形式のプログラムを視聴する際には、Zoom を使用します。

- 参加リンク：参加者専用サイトのプログラム一覧に、Zoom の参加用リンクが掲載されます。
（現地みのプログラムは除きます）
- 参加リンクの公開時期：大会開催の約 3 日前を予定しています。それまでお待ちください。

【Zoom の準備について】

Zoom を利用したことがない方は、以下の手順で PC やスマートフォンにアプリをインストールしてください。

アプリのインストール方法

PC の場合

Zoom ダウンロードセンター (<https://zoom.us/download>) から、指示に従って「Zoom Workplace」をダウンロードし、インストールしてください。

スマートフォン・タブレットの場合

- iPhone: 「App Store」で「Zoom Workplace」を検索し、インストールしてください。
- Android: 「Google Play ストア」で「Zoom Workplace」を検索し、インストールしてください。

※アプリは無料です。

【Zoom 使用時の注意点】

イヤホンの利用

周囲に人がいる環境で Zoom を使用する場合は、マイク付きイヤホンを使用してください。音声の聞き取りやすさが向上し、ハウリングを予防するなど周囲への配慮にもつながります。

動作テスト

初めて Zoom を利用する場合は、事前に動作確認を行ってください。以下の Web ページからテスト環境を利用して動作を確認することができます。

- テストミーティングルーム: <https://zoom.us/test>
- このテストでは、マイクやカメラ、背景設定等の確認ができます。

第30回記念大会 タイムテーブル

大会初日：11月22日(土)								
	416教室	602B教室	601B教室	612A教室	601A教室	602A教室	613B教室	
	ハイブリッド						現地のみ	
9:00	受付 ※受付開始 9:00～							9:00
9:30	開会式							9:30
9:45	表彰式							9:45
10:25	昨年度 受賞講演 私たちの実践を支えていくもの～PCAGIP法の実践から～							10:25
10:50	南陽子							10:50
	休憩(10分)							
11:00	基調講演 これからのキャリア支援者に求められること 廣川達	自主シンポジウム S01 キャリア・ウェルビーイングの実現に向けた多領域からのアプローチ～地域・行政・産業・リワークの視座～	自主シンポジウム S02 協力企業も支える人も本人も－“三方よし”のキャリア・インタナショナルシップ物語		自主シンポジウム S03 実践例から考える社会正義に貢献するキャリア支援と研究	自主シンポジウム S04 経験代謝を活用したキャリア・アカウンティングの実践～「問題解決」と「個性の発揮」～		11:00
12:30								12:30
	休憩(45分)							
13:15	大会シンポジウムⅠ 社会変化がもたらしているキャリアの問題～本質的な支援に向けて 平川雅浩、長谷川能扶子、住田曉弘、坂爪洋美、浅野浩美	研究発表・実践報告・学位研究発表 R01	研究発表・実践報告・学位研究発表 R02	研修会Ⅰ より良い実践のための研究～研究の前と後から考える～ 五十嵐敦	委員会企画Ⅰ エビデンスに基づく「セルフ・キャリアドック導入・展開」のコツ 吉田英和、塩岡知子、島田貴子、高橋浩、岩田敏、中村彰秀	自主シンポジウム S05 キャリアとメンタルの統合支援：医療とのより良い連携を目指して	現地企画Ⅰ PCAGIP法による“事例検討” 南陽子	13:15
14:45								14:45
	休憩(15分)							
15:00	委員会企画2 「対話会」でふかめ、ひろげる～見えてきた「マイノリティ支援」の可能性 桜井伸子、寺山昇、堀川歩、重光奇之、矢野雷太、下村英雄、廣田純子	研究発表・実践報告・学位研究発表 R03	研究発表・実践報告・学位研究発表 R04	研修会2 解決志向ブリーフセラピーのエッセンス～発想を学び技法を活かす～ 黒沢幸子	自主シンポジウム S07 AIとコラボレーションするキャリア構成面接	自主シンポジウム S06 育児と仕事の両立に悩む男性社員をどう支えるか～キャリア支援者・職場・当事者と共に考えるディスカッション～	現地企画2 スーパービジョンの魅力と効果Ⅲ～ライブスーパービジョンとSVメンタリングの実践 三川俊樹	15:00
16:30								16:30
	休憩(15分)							
16:45	大会シンポジウムⅡ 多様性・社会正義・共同体～支援者のあり方を問う 下村英雄、水野みち、高橋浩、馬場洋介	研究発表・実践報告・学位研究発表 R05	研究発表・実践報告・学位研究発表 R06	研修会3 中高年期の心理臨床－マクロとミクロの視点からの多層的アプローチ 大川一郎	委員会企画3 行動していますか？～楠木新先生と考えるキャリア・カウンセラー自身のキャリア自律～ 楠木新、杉山輝美、小島浩嗣、後藤浩、吉田聡	自主シンポジウム S08 ジョブ・クラフティング概念を取り入れた、役立つ企業内キャリア支援	スーパービジョン相談サロン 小澤康司、寺田正美、三川俊樹、八巻甲一	16:45
18:15								18:15
	休憩(15分)							
18:30	情報交換会(3階学生食堂)、同時開催 オンライン交流会(Zoom) (90分)							18:30
20:00								20:00

大会2日目：11月23日(日)								
	416教室	602B貴洋室	601B教室	612A教室	601A教室	602A教室	613B教室／415教室	
	ハイブリッド						現地のみ	
9:00	受付 ※受付開始 9:00～							9:00
10:00	第30回大会特別企画 Enhancing Dignity and Opportunity for All: Psychology of Working Informed Career Interventions すべての人に尊厳と機会を～ワーキング心理学に基づくキャリア支援	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R07	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R08	研修会4 対人支援に活かす 実践アドラー心理学 梶野真	委員会企画4 今、考える「キャリア・カウンセリング」とは 松本桂樹、原恵子、宮地多佳、星野宏	自主シンポジウム S09 生成AI時代のリスキリング社会におけるキャリアコンサルタントの役割	【613B教室】研究相談サロン 高山美穂、中丸世紀、古田克利、堀内泰利、前田具美、三好真	10:00
11:30	デイビッド・ブルスティン (～11:45)	休憩(45分)						11:30
12:15	大会シンポジウムⅢ AIがカウンセリングに及ぼす影響～それは脅威か希望の光か 佐藤秀明、佐野貴、小川修平、吉川雅也、高橋浩	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R09	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R10	研修会5 組織の見立てと働きかけの設計ー組織開発の視点からー 土屋耕治	委員会企画5 PCAGIPトレーニング 2025実践報告 石黒俊彦、空まどか、滝本耕太郎、中野愛子、細川真由美、山田亜由美、武市拓也、南陽子	自主シンポジウム S10 キャリアの民俗学”名もなき社会の要たち” Part3: PAC分析に基づく「準備」の検討～人生100年時代に向けて～	【415教室】現地企画3 まり子の部屋(ライブトーク)～現場からの発信 宮城まり子	12:15
13:45	休憩(15分)							13:45
14:00	委員会企画6 若手キャリアコンサルタントの活動領域拡大を考える～ストレスチェック・健康経営等～ 星野宏、筒井祐佳里、中村瑛一、石見忠士	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R11	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R12	研修会6 カウンセリング実践に機能しているフォーカシングα(アルファ) 池見陽	委員会企画7 大学におけるキャリア教育の課題と展望ー新たなフェーズに向けてのヒントを探るー 三川俊樹、山本和美、川端由美子、古田克利、新井香子	自主シンポジウム S11 AIとカウンセリングが紡ぐ三者協働 対話から拓くキャリア支援 三位一体支援モデルとAI雇用支援ツールの実践	【613B教室】現地企画4 自律と貢献を引き出すキャリア面談ー企業内キャリア支援者のための開発型アプローチ 高橋浩	14:00
15:30	休憩(15分)							15:30
15:45	大会シンポジウムⅣ キャリア×カウンセリング～個人から組織・社会に働きかける支援の深化 宮城まり子、浅野浩美、道谷里英、馬場洋介、高橋浩	研究発表・実践報告・学位 研究発表 R13		研修会7 知っておきたい ニューロダイバーシティの基礎知識 村中直人	委員会企画8 国際的な論文について触れてみよう 三好真、国重浩一、浅野衣子、三宅麻未、新免玲	自主シンポジウム S12 治療と仕事の両立支援～キャリア支援を当事者・支援者とともに考える～		15:45
17:15	休憩(15分)							17:15
17:45	クロージングセッション(池袋宣言) 閉会式							17:45

●11月22日(土) 11:00~12:30

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

これからのキャリア支援者に求められること

講師 廣川 進 法政大学 キャリアデザイン学部 教授

【概要】

今や国家資格キャリアコンサルタントは8万人を超えそうですが、課題も多いといえます。資格は取ったものの、実際のケースを担当する機会がなく、事例検討会やスーパービジョンを受けた経験もなくカウンセリングの質の向上もままならず、取得した資格を稼げる仕事にできる人は何割くらいでしょうか。「資格ビジネス化」が進行しているとの見方も可能でしょう。自らスーパービジョンを受けたこともなく、カウンセリングもせず、主に対策講座の講師を仕事にしている一級ホルダーもいると聞きます。

当学会名称は「カウンセリング」の概念を大事にして、「キャリア」と「カウンセリング」の間にナカグロ(・)を入れています。

目の前には「キャリア」どころか「生存」がかかるクライアントもいる現実をふまえて、対人支援としての「カウンセリング」の質を向上させるために何が必要か。心構え、技術、カウンセラーとしての生き方について再考します。

【講師】

廣川 進 (ひろかわ・すすむ)

法政大学 キャリアデザイン学部 教授

法政大学キャリアデザイン学部教授(文学博士)、日本キャリア・カウンセリング学会前・会長。ベネッセコーポレーションに18年勤続、育児雑誌ひよこクラブ創刊に携わり2001年退社。大正大学大学院修士課程(臨床心理学専攻)、同博士課程を修了。大正大学臨床心理学科教員を経て2018年から現職。

資格：公認心理師、臨床心理士、シニア産業カウンセラー、2級キャリア・コンサルティング技能士、当学会認定スーパーバイザー。

主な著書：「心理カウンセラーが教える「がんばり過ぎて疲れてしまう」がラクになる本」、「キャリア・カウンセリングエッセンシャルズ400」(編集委員)、「これで解決! シゴトとココロの問題」)



●11月23日(日) 10:00~11:45 Zoom 配信 アーカイブ公開 ※オンラインで登壇

Enhancing Dignity and Opportunity for All: Psychology of Working Informed Career Interventions すべての人に尊厳と機会を〜ワーキング心理学に基づくキャリア支援

講 師 Dr. David L. Blustein ボストンカレッジ大学院 カウンセリング心理学部 教授
司 会 道谷 里英 順天堂大学 国際教養学部 先任准教授

【概要】

カウンセリングモデルやキャリア支援の構築に向けた理論的根拠と枠組みづくりに焦点を当てます。まず、包括的なキャリア支援の前提として、「ワーキング心理学 (Psychology of Working)」や社会正義の視点に基づく理論から概観します。次に、「働くことの尊厳 (dignity at work)」の役割に焦点を当てた新たな取り組みを紹介し、それをワーキング心理学およびキャリア支援や公共政策と結びつけて考察します。

そして、尊厳と人間的扱いを重視した包括的な介入の一例として、「ワーク・インターベンション・ネットワーク (WIN)」を紹介します。WIN プログラムは、求職者や職業上の転機に直面している人のために設計された、構造化され、かつ包摂的なキャリア支援プログラムです。

* 先生は海外から zoom にて講演されます。同時通訳あり。現地会場では、zoom の映像、音声をご視聴いただけます。

【講師】

Dr. David L. Blustein (ディビッド・L・ブルスティン)

ボストンカレッジ大学院 カウンセリング心理学部 教授



ボストン・カレッジ大学院のカウンセリング・発達・教育心理学部の教授であり、ゴールデン・イーグル・ファカルティ・フェロー。2022 年にはレオナ・タイラー賞 (Leona Tyler Award for Lifetime Achievement in Counseling Psychology)、2025 年には公共政策への特別貢献賞 (APA Award for Distinguished Contributions to Research in Public Policy) など数多く受賞されている。The Psychology of Working: A New Perspective for Career Development, Counseling, and Public Policy(2006)、The Oxford Handbook of the Psychology of Working(2013: 邦訳『キャリアを超えて ワーキング心理学』白桃書房)、The Importance of Work in an Age of Uncertainty: The eroding work experience in America(2019; 邦訳『人間の仕事：意味と尊厳』白桃書房)の著者であり、Rethinking Work の共同編集者でもある。包括的で社会正義に基づいた働くことの視点となるワーキング心理学理論の提唱・発展の中核を担う。さらに、失業、仕事に基づく介入、ディーセント・ワーク、仕事とメンタルヘルスの接点、人との関係性と働くことの本質を探究する。ILO、OECD、国連開発計画との協議も行っている。

【司会】

道谷 里英 (みちたに・りえ)

順天堂大学 国際教養学部 先任准教授



筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻を修了し、博士(カウンセリング科学)取得。人事サービス専門会社にて営業やコンサルティング業務に従事後、民間企業で人事部門のマネジャーやキャリアカウンセラーに従事。筑波大学キャリア支援室准教授、文京学院大学経営学部准教授を経て、現職。Boston College 客員研究員 (2025 年 4 月~9 月)。

著書に『キャリアを支えるカウンセリングー組織内カウンセリングの理論と実践』(ナカニシヤ出版・単著)、『新版キャリアの心理学 第 2 版』(ナカニシヤ出版・共著)、『キャリアを超えてワーキング心理学ー働くことへの心理学的アプローチ』(白桃書房・共訳)など。

●11月22日(土) 13:15～14:45

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

社会変化がもたらしているキャリアの問題～本質的な支援に向けて

シンポジスト	平川 雅浩	厚生労働省人材開発統括官付参事官（若年者・キャリア形成支援担当）付
	長谷川 能扶子	有限会社 C マインド
	住田 暁弘	東京都市大学
	坂爪 洋美	法政大学
司 会	浅野 浩美	事業創造大学院大学

【企画主旨】

キャリアコンサルティング施策は、今から四半世紀前、技術革新など社会が変化する中で、誰もがキャリアについての相談が受けられるようにするところから始まりました。キャリアコンサルタントの登録者数は、今や7万9000人超ですが、この間、働くことを取り巻く環境は大きく変わりました。技術革新のスピードが増す中でどのように学び、活用していくのか、納得いくキャリアをどうつくっていくのか。少子高齢化が進む中で、貴重な若手をどう育て、より多くの者に長く生き生きと働いてもらうのか、女性にいかにか力を発揮してもらうのか、など課題は尽きません。変化のスピードがさらに加速する中で、キャリアコンサルタントに対する国の期待はさらに高まっています。そのような中、支援の現場で求められていることは何なのか。相談に携わる私たちは、何を学び、どう研鑽を積み、どのように支援すればいいのか。厚生労働省担当室長を交え、議論していきます。

【シンポジスト】

平川 雅浩（ひらかわ・まさひろ）



厚生労働省人材開発統括官付参事官（若年者・キャリア形成支援担当）付 キャリア形成支援室長

1994年労働省入省。職業訓練、外国人技能実習制度、障害者雇用、雇用関係助成金などの労働行政に係る政策立案・事業運営に主に従事。愛知労働局職業安定部長、厚生労働省人材開発統括官訓練企画室長、鳥取労働局長などを経て現職。キャリアコンサルティング、ジョブ・カード制度の普及促進等を通じた労働者の自発的な職業能力の開発・向上に関する施策を担当。

長谷川 能扶子（はせがわ・のぶこ）



有限会社 C マインド 代表取締役

ITの管理職時代、部下が疲弊していくのを見て「もっと皆が活き活きと働ける世の中にするには？」の答えを求め産業カウンセリングと出会う。2003年Cマインド設立。女性のキャリア支援を軸に活動の幅を広げる中、キャリアコンサルタントの質向上に問題意識を持つ。厚生労働省委託事業や技能更新講習等で、社会のニーズに応えられるキャリアコンサルタントへの成長を支援。1級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー協会スーパーバイザー、CCA認定スーパーバイザー、Walden University 心理学修士、公認心理師。2018年「セルフ・キャリアドックにおけるクライアントの満足度と支援の効果」奨励賞



住田 暁弘（すみだ・あきひろ）

東京都市大学 大学教学局長

約 25 年間の企業勤務や起業の経験では、人事から始まり、その後、就職進学情報事業、キャリアカウンセラー養成事業、セカンドキャリア支援事業、教育コンサルタント事業などで役員やゼネラルマネジャーなどの役割を担う。現在もキャリアカウンセラーのスーパービジョンも行う。勤務して約 15 年になる現所属の大学では大学教学局の責任者として、学生のキャリアを含む学修支援、社会人向けのリカレント教育などにも携わり新たな価値提供にも積極的に取り組んでいる。学外でも日本私立大学協会就職・キャリア支援委員会委員長、大学職業指導研究会副会長、日本学生支援機構キャリア教育・就職支援事業に係る協力者など多数の役割も務める。



坂爪 洋美（さかづめ・ひろみ）

法政大学 教授

民間の人材紹介業勤務後、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程単位取得退学。博士（経営学）。和光大学を経て、2015 年 4 月より現職。専門は人的資源管理・組織行動論。日本労務学会元会長。日本キャリアデザイン学会元副会長。産業・組織心理学会常任理事。職業安定分科会労働力需給制度部会委員。「経済社会情勢の変化に対応したキャリアコンサルティングの実現に関する研究会」座長。「キャリアコンサルタント登録制度等に関する検討会」「今後の人材開発政策の在り方に関する研究会」「公的職業訓練の在り方に関する研究会」委員。

【司会】



浅野 浩美（あさの・ひろみ）

事業創造大学院大学 教授

筑波大学大学院修了。修士（経営学）、博士（システムズ・マネジメント）。厚生労働省で、キャリア形成支援室長としてキャリアコンサルティングの普及、首席職業指導官としてハローワーク指導にあたったほか、労働局長として働き方改革を推進。『キャリアコンサルタント・人事パーソンのためのキャリアコンサルティング』労務行政（2022 年）、『日本キャリアカウンセリング史 正しい理解と実践のために』共著、実業之日本社（2024 年）。国家資格キャリアコンサルタント、1 級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、社会保険労務士、日本キャリアデザイン学会会長、日本キャリア・カウンセリング学会副会長。

●11月22日(土) 16:45～18:15

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

多様性・社会正義・共同体～支援者のあり方を問う

シンポジスト	下村 英雄	労働政策研究・研修機構
	水野 みち	株式会社日本マンパワー
	高橋 浩	ユースキャリア研究所
企画・司会	馬場 洋介	帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

【企画主旨】

「キャリア×カウンセリング」が社会インフラとして機能するには、支援が日常的に届きにくい現状や、あるいは特定の人のみに届けられるような現状を乗り越える必要があります。本シンポジウムでは、こうしたギャップに向き合い、支援のあり方を根本から問い直してきます。「社会正義」は、すべての人が公正に機会や資源にアクセスできることを保障しようとする理念。「多様性」は、性別・年齢・文化・価値観などの違いを前提とし、それらを尊重する視点。「コミュニティ心理学」は、個人だけでなく地域・組織といった共同体への支援や介入を重視する実践の心理学です。社会正義の視点から下村英雄氏、多様性の観点から水野みち氏、コミュニティ心理学の立場から高橋浩氏が登壇し、3つの視点から支援者の姿勢や社会との関わり方、具体的な支援方法などについて多角的に語り合います。支援者の視座を上げ思考の枠組みを拡大するヒントを共有していきます。

【シンポジスト】

下村 英雄 (しもむら・ひでお)

労働政策研究・研修機構 統括研究員



筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士(心理学)。キャリア心理学専攻。東京成徳大学大学院講師、厚生労働省職業能力開発専門調査員、社会正義のキャリア支援研究会顧問。日本キャリア教育学会元会長。日本キャリア・カウンセリング学会元監事。主著に『キャリアコンサルティング理論と実際6訂版』(雇用問題研究会)、『社会正義のキャリア支援』(図書文化社)、『成人キャリア発達とキャリアガイダンスー成人キャリア・コンサルティングの理論的・実践的・政策的基盤』(労働政策研究・研修機構、平成26年度労働関係図書優秀賞受賞)他。国家資格キャリアコンサルタント、1級キャリアコンサルティング技能士。

水野 みち (みずの・みち)

株式会社日本マンパワー 本部長・フェロー



株式会社日本マンパワーキャリアドック事業本部本部長、フェロー、キャリアのこれから研究所所長、日本キャリア開発協会スーパーバイザー、ペンシルバニア州立大学教育学修士(カウンセラー教育)。キャリアカウンセラー養成講座の立ち上げに従事した後、企業内のキャリア開発・DEI・キャリアコンサルタントの活躍支援に携わる。共著『IDGs 変容する組織』。

高橋 浩 (たかはし・ひろし)

ユースキャリア研究所 代表



日本キャリア開発協会 理事。博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師。法政大学大学院/目白大学大学院 講師。一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会副会長。1987年、弘前大学教育学部卒業後、NECグループの半導体設計会社に24年間勤務し、エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。1996年から心理学やカウンセリングを学び、2001年CDA、2012年博士号を取得。2012年、ユースキャリア研究所を開設。現在、行政・大手企業でのキャリア支援の実践とともに、キャリア関連の調査研究も行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『実践コミュニティアプローチ』『改訂版社会人のための産業・組織心理学』、他多数。

【企画・司会】



馬場 洋介（ばば・ひろすけ）

帝京平成大学大学院臨床心理学研究科 教授

株式会社リクルートでメンタルヘルス担当、株式会社リクルートキャリアコンサルティングで再就職支援のキャリアカウンセラーとして精神障害者等の就労支援に携わる。現在、産業心理職の育成をしながら、医療法人社団平成医会 平成かぐらクリニック リワーク統括責任者として、キャリアとメンタルヘルスを統合した職場復帰支援に従事。

学会活動：一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会会長

著書：『キャリア心理学 ライフデザイン・ワークブック』（共著 ナカニシヤ出版 2018）、『心理職の専門性 20-公認心理師の職責-』第9章：産業・労働分野における心理専門職のはたらき（執筆担当）（共著 NHK 出版 2020）。

●11月23日(日) 12:15~13:45

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

AI がカウンセリングに及ぼす影響～それは脅威か希望の光か

シンポジスト	佐藤 秀明	NEC ライフキャリア株式会社
	佐野 貴	株式会社 TALENT
	小川 修平	株式会社エモスタ
	吉川 雅也	関西外国語大学
司 会	高橋 浩	ユースキャリア研究所

【企画主旨】

生成 AI の進化は、キャリア支援やカウンセリングの現場にも急速に浸透し始めています。本シンポジウムでは、まず、すでに AI を活用してキャリア支援を行っている企業による実演を行い、加えて、既存の AI ツールを活用した支援の可能性についても紹介します。そして、その使用感、利便性、現場で生じる疑問や懸念点についてシンポジストによる意見交換を行っていきます。さらに、AI 社会における労働、経済、社会、組織のあり方はどのような変化を遂げるのか、そこで生じる問題と解決方法はどのように違ってくるのかについても意見交換を行い、支援者が果たすべき役割やこれからの専門性のあり方を多角的に検討していきます。AI を「脅威」と見るか「希望の光」と捉えるかは、使い手次第。本シンポジウムは、AI 時代におけるキャリアとカウンセリングの新たな地平を、参加者の皆さんとともに描いていきます。

【シンポジスト】

佐藤 秀明 (さとう・ひであき)

NEC ライフキャリア株式会社 代表取締役社長

大学卒業後日本電気株式会社 (NEC) に入社、国内技術製造、販売部門の人事、フィリピン・マニラ駐在を経て、2004 年からシンガポールにて APAC 地域の人事を統括。2007 年帰任後は労務・労使関係、国際人事、全社人事制度企画を順次担当、2015 年から人事部長、2019 年人事総務部長。2020 年 9 月 NEC ライフキャリア株式会社の設立と同時に代表取締役社長に就任、2025 年 4 月から NEC L&D 統括部長を兼任し全社人材開発機能の統括も担当している。「個人と組織のよい関係作り」がライフワーク。



佐野 貴 (さの・たかし)

株式会社 TALENT 代表取締役

IT 上場企業入社後、新規事業責任者を務め売却し独立。2018 年に株式会社 TALENT を設立し「才能」に着目したタレント人材の支援事業を創出。Podcast 番組「COTEN RADIO」を運営する、株式会社 COTEN にて取締役及び人事責任者を兼任した後、2022 年末に退任。現在は、当社にて心理学を基盤とした才能研究のデータを元に、組織・人材開発、チームビルディング支援、プロデュース、スクール事業などを展開。延べ 1,000 名以上の才能を支援。2024Forbes NEXT100 選出。flier book labo パートナリティ。



小川 修平 (おがわ・しゅうへい)

株式会社エモスタ 代表取締役

1986 年大分県生まれ神奈川県育ち。米国/インディアナ大学経済学部卒。卒業後 7 年間の投資銀行勤務を経て独立、エモスタを立ち上げ。AI と心理学の知見を用いた事業開発、プロダクト開発、コンサルティングを手がける。その他、人間とは何か、について多角的にアプローチするためのワークポートフォリオを組成している。3 児の父であり、一人が難聴児のため、難聴・ろう支援、ダイバーシティ理解支援に関心。書籍「認知行動療法の哲学」の翻訳チームメンバー。





吉川 雅也（よしかわ・まさや）

関西外国語大学 英語キャリア学部 准教授

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会理事、博士(商学)。同志社大学大学院総合政策科学研究科博士(前期)課程修了後、民間企業でITエンジニア、人事コンサルタント、フリーランスでキャリアカウンセラー、ITコンサルタントなどを経て2013年に関西学院大学キャリア教育常勤講師、2017年に関西外国語大学外国語学部講師、2020年より現職。近年の研究テーマはハプンスタンス学習理論に基づいたキャリア支援、アジャイルキャリア開発モデルの構築、キャリア支援者の生成AI活用など。著書『行動と変化を促すキャリアカウンセリング&ガイダンス』（福村出版、2025年）

【司会】



高橋 浩（たかはし・ひろし）

ユースキャリア研究所 代表

日本キャリア開発協会 理事。博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師。法政大学大学院／目白大学大学院 講師。一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会副会長。1987年、弘前大学教育学部卒業後、NECグループの半導体設計会社に24年間勤務し、エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。1996年から心理学やカウンセリングを学び、2001年CDA、2012年博士号を取得。2012年、ユースキャリア研究所を開設。現在、行政・大手企業でのキャリア支援の実践とともに、キャリア関連の調査研究も行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『実践コミュニティアプローチ』『改訂版社会人のための産業・組織心理学』、他多数。

●11月23日(日) 15:45~17:15

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

キャリア×カウンセリング～個人から組織・社会に働きかける支援の深化

シンポジスト	宮城 まり子	本学会名誉会長、キャリア心理学研究所
	浅野 浩美	事業創造大学院大学
	道谷 里英	順天堂大学
	馬場 洋介	帝京平成大学大学院臨床心理学研究科
	高橋 浩	ユースキャリア研究所
司 会		

【企画主旨】

本シンポジウムでは、今大会のテーマに対する答えを探っていきます。すなわち、「キャリア×カウンセリング」が「社会インフラ」として機能するために、我々キャリア支援の「プロフェッショナル」が何をすべきなのか、そのためにはどのようなことを研鑽していけばよいのか、そして、どのようにすれば自らの限界を突破し、ふかめ・ひろげることができるのかについて意見交換をします。そのために、初日からの大会企画シンポジウムで意見交換された内容、および、ブルスティン教授の特別講演の内容などを踏まえ、それぞれの企画者、司会者が感じたこと、気づいたことなどを、宮城まり子先生を交えて、様々な視点から語り合います。そして、本学会として、個人、組織、および、社会に対して、具体的にどのような関わりをすべきかについて見解を集約し、クロージングセッションにおける今大会の「宣言」へとつなげていきます。

【シンポジスト】

宮城 まり子 (みやぎ・まりこ)

本学会名誉会長、キャリア心理学研究所 代表

臨床心理士。早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパービジョン、企業におけるキャリア開発支援などに長く携わっている。



浅野 浩美 (あさの・ひろみ)

事業創造大学院大学 教授

筑波大学大学院修了。修士(経営学)、博士(システムズ・マネジメント)。厚生労働省で、キャリア形成支援室長としてキャリアコンサルティングの普及、首席職業指導官としてハローワーク指導にあたったほか、労働局長として働き方改革を推進。『キャリアコンサルタント・人事パーソンのためのキャリアコンサルティング』労務行政(2022年)、『日本キャリアカウンセリング史 正しい理解と実践のために』共著、実業之日本社(2024年)。国家資格キャリアコンサルタント、1級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、社会保険労務士、日本キャリアデザイン学会会長、日本キャリア・カウンセリング学会副会長。



道谷 里英（みちたに・りえ）

順天堂大学 国際教養学部 前任准教授



筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻を修了し、博士（カウンセリング科学）取得。人事サービス専門会社にて営業やコンサルティング業務に従事後、民間企業で人事部門のマネジャーやキャリアカウンセラーに従事。筑波大学キャリア支援室准教授、文京学院大学経営学部准教授を経て、現職。Boston College 客員研究員（2025 年 4 月～9 月）。

著書に『キャリアを支えるカウンセリングー組織内カウンセリングの理論と実践』（ナカニシヤ出版・単著）、『新版キャリアの心理学 第 2 版』（ナカニシヤ出版・共著）、『キャリアを超えてワーキング心理学ー働くことへの心理学的アプローチ』（白桃書房・共訳）など。

【司会】

馬場 洋介（ばば・ひろすけ）

帝京平成大学大学院 臨床心理学研究科 教授



株式会社リクルートでメンタルヘルス担当、株式会社リクルートキャリアコンサルティングで再就職支援のキャリアカウンセラーとして精神障害者等の就労支援に携わる。現在、産業心理職の育成をしながら、医療法人社団平成医会 平成かぐらクリニック リワーク統括責任者として、キャリアとメンタルヘルスを統合した職場復帰支援に従事。

学会活動：一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会会長

著書：『キャリア心理学 ライフデザイン・ワークブック』（共著 ナカニシヤ出版 2018）、『心理職の専門性 20-公認心理師の職責-』第 9 章：産業・労働分野における心理専門職のはたらし（執筆担当）（共著 NHK 出版 2020）。

高橋 浩（たかはし・ひろし）

ユースキャリア研究所 代表



日本キャリア開発協会 理事。博士（心理学）・キャリアコンサルタント・公認心理師。法政大学大学院／目白大学大学院 講師。一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会副会長。

1987 年、弘前大学教育学部卒業後、NEC グループの半導体設計会社に 24 年間勤務し、エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。1996 年から心理学やカウンセリングを学び、2001 年 CDA、2012 年博士号を取得。2012 年、ユースキャリア研究所を開設。現在、行政・大手企業でのキャリア支援の実践とともに、キャリア関連の調査研究も行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『実践コミュニティアプローチ』『改訂版社会人のための産業・組織心理学』、他多数。

●11月22日(土) 13:15-14:45

現地対面

PCAGIP 法による“事例検討”(対面・体験版)

【概要】

PCAGIP(ピカジップ)法は、「事例提供者が簡単な事例資料を提供し、ファシリテーターと参加者が安全な雰囲気の中でその相互作用を通じて参加者の力を最大限に引き出し、参加者の知恵と経験から、事例提供者に役立つ新しい取り組みの方向や具体策のヒントを見出していくプロセスをともにするグループ体験」です。通常的事例検討がクライアントへの対応や見立てを重視するのに対し、話題(事例)提供者がどのように目の前の人(クライアントや周囲の人びと)とのかかわり、どうありたいと願っているのか、何を大切にしてきたか等、話題提供者の語りをじっくりと聴くことを大切に、そのプロセスを通じ、個々の参加者に生じる体験に重きをおきます。産業領域で人がより良く働くこと、生きることを支えようとされている皆さんと PCAGIP の体験をご一緒できればと思います。今回は、いつもより説明と実施時間が短い、体験版として実施します。

※このプログラムは「定員制」となります。参加には「事前申し込み」が必要です。

◆話題提供について

話題(事例)提供は当日、会場で立候補していただきます。PCAGIP で取り上げてほしい話題(現在直面している課題、事例、悩み)がある方は簡単にその話題についてまとめておいてください(250 字くらい)。もちろん聞き手(金魚・金魚鉢)として参加されることも可能です。

【ファシリテーター】

南 陽子(みなみ・ようこ)

日本キャリア・カウンセリング学会 研修委員会 PCAGIP 担当

1977 年生まれ、宮崎県在住。キャリアコンサルタント、1 級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師

キャリアコンサルタント同士が相互の交流により、それぞれの生き方や実践を支えらえる仕組みを作れないかと考えていた時に、村山先生と PCAGIP 法に出会う。2016 年 7 月より対面とオンラインで PCAGIP 法による“事例検討”を行う。

キャリアコンサルティング協議会 HP コラム「キャリアコンサルタントと PCAGIP 法」(<https://www.career-cc.org/column/column000273.html>)を執筆。2024 年度本学会実践賞(PCAGIP 法を用いた事例検討会の継続的な推進)



●11月22日(土) 15:00-16:30

現地対面

スーパービジョンの魅力と効果 IIIーライブスーパービジョンとSVメンタリングの実際

【概要】

スーパービジョンは、事例検討や事例指導、あるいはケースカンファレンスやコンサルテーションとは異なります。昨年度に引き続き、スーパービジョンの意味・役割・機能を理解していただくために、本学会が2009年2月から取り組んできた「スーパーバイザー養成訓練」の基盤となる「基礎的かつ汎用性のあるスーパービジョン」をリアルタイムで実演します。

スーパービジョンでは、スーパーバイザーが自らのカウンセリングを振り返りながら、その問題点や課題に自ら気づき、その解決に向けて主体的に取り組んでいくプロセスをご覧いただきながら、スーパービジョンの魅力と効果を共感的に体験されることを願っています。

また、スーパービジョン終了後には、スーパーバイザーの指導者(SVメンター)によるSVメンタリングに触れながら、スーパーバイザー自身の課題についても検討する予定です。

【講師・スーパーバイザー】

三川 俊樹(みかわ・としき)

追手門学院大学 心理学部 教授

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程中退。スーパーバイザー&スーパービジョンメンター(日本キャリア・カウンセリング学会)。

著書には、日本産業カウンセラー協会(編)「産業現場の事例で学ぶ カウンセラーのためのスーパービジョン活用法」(共著、金子書房)、藤田晃之(編)「キャリア教育」(共著、ミネルヴァ書房)などがある。2009年にスーパーバイザー養成講座が開講された時からスーパーバイザーの養成訓練にかかわってきた。現在は、スーパーバイザーのスーパービジョン(SVメンタリング)を担当することができるSVメンターの養成訓練が喫緊の課題であると認識している。



●11月23日(日) 12:15-13:45

現地対面

まり子の部屋(ライブトーク)～現場からの発信

【概要】

キャリア支援を追求する宮城まり子先生が、各領域で活躍するキャリア支援の実践者と、現場で直面している実情や課題や悩みを本音で語り合う座談会形式の特別セッションです。日頃の実践では語りにくい葛藤、理想と現実のはざま、支援者としての成長の手応えと限界など、専門家同士だからこそ共有できる“リアル”な声を先生と交わしていきます。登壇者以外の参加者はその対話をオブザーブし、必要に応じて意見や感想を共有することも可能です。「ここだけの話」に耳を傾けながら、自らの実践を見つめ直すきっかけをつかんでみませんか。

※このプログラムは「定員制」となります。参加には「事前申し込み」が必要です。

【講師】

宮城 まり子(みやぎ・まりこ)

本学会名誉会長、キャリア心理学研究所 代表

臨床心理士。早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了、立正大学心理学部臨床心理学教授、法政大学キャリアデザイン学部教授、法政大学大学院キャリアデザイン学研究科教授を経て現在に至る。専門は、産業臨床心理学、キャリア心理学、キャリアカウンセリング。キャリアとメンタルの統合的支援、キャリアカウンセラーの養成、キャリアカウンセリングのスーパービジョン、企業におけるキャリア開発支援などに長く携わっている。



●11月23日(日) 14:00-15:30

現地対面

自律と貢献を引き出すキャリア面談—企業内キャリア支援者のための開発型アプローチ

【概要】

セルフ・キャリアドックでは、「これといった悩みがない」という状態での面談が一般的です。では、そうした場面で支援者は何をすればよいのでしょうか。本研修では、悩み相談ではなく、従業員が主体的にキャリアを築きながら、組織とのよりよい関係(WIN-WIN)を目指す「開発型支援」のあり方を学びます。具体的には、キャリア形成への動機づけ、環境変化への適応、自己実現と組織貢献の両立を支援するための「7つのプロセス×3つのステップ」の枠組みを、講義とワークを通して紹介します。この枠組みは、主要なキャリア理論を統合的に整理した実践的アプローチであり、これまでの学びと組み合わせることで現場で活用することができます。特に、企業内でキャリア支援に携わる方にとって、役立つ内容です。

【講師】

高橋 浩(たかはし・ひろし)

ユースキャリア研究所 代表

日本キャリア開発協会 理事。博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師。法政大学大学院/目白大学大学院 講師。一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会副会長。

1987年、弘前大学教育学部卒業後、NECグループの半導体設計会社に24年間勤務し、エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。1996年から心理学やカウンセリングを学び、2001年CDA、2012年博士号を取得。2012年、ユースキャリア研究所を開設。現在、行政・大手企業でのキャリア支援の実践とともに、キャリア関連の調査研究も行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『実践コミュニティアプローチ』『改訂版社会人のための産業・組織心理学』、他多数。



●11月22日(土) 13:15-14:45

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

エビデンスに基づく「セルフ・キャリアドック導入・展開」のコツ

パネリスト	吉田 英和	日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員
	埴岡 知子	日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員
	島田 貴子	日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員
コメンテーター	高橋 浩	ユースキャリア研究所 代表
司 会	岩田 敏	オフィス☆ボラリス 代表
企 画 者	中村 彰秀	株式会社 JTB グループ本社 人材開発チーム シニアコンサルタント

【企画主旨】

近年、注目を集めている「セルフ・キャリアドック」(SCD)。スムーズに導入し活用している企業がある一方で、導入がすすまないまたは活用しきれない企業も多いと聞きます。本シンポジウムでは、企業における SCD の導入・活用に関する 44 社のアンケートと 6 社のインタビューをもとに、推進者の行動特性、組織環境、決定者との関係性、導入効果などを統計的に分析した結果、たいへん興味深い知見が得られました。昨年の議論「導入の壁とその乗り越え方」に加えて、今年は導入後の展開、効果測定、継続的な改善活動などにも焦点を当て、現場での実践知を深掘りします。一方的な発表ではなく、参加者との質疑応答や意見交換を重視し、双方向で進行します。この議論を通じて、キャリアコンサルタントが自社の状況に応じて SCD を推進するための「コツ」を抽出し、最終的には現場で使える支援ツールにまとめることを目指しています。

【パネリスト】



吉田 英和 (よしだ・ひでかず)

日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員

1990 年広告会社入社。営業として 34 年間、クリエイティブ制作、スポーツ・博覧会等のイベント関連業務、企業・商品ブランディング、新規事業創造、等々、大失敗も含めて様々な経験を積む。現在はプレーイングマネージャーとしてクライアント課題に向き合い、所属局で人材開発のサポートにも取り組んでいる。

★筑波大学エクステンションプログラム「第 1 期キャリア支援者のビジョン構築プログラム」修了 「第 9 期キャリア・プロフェッショナル養成講座」修了

★青山学院大学「ワークショップデザイナー育成プログラム 40 期」修了

★慶應 MCC「第 16 期ラーニングイノベーション論」修了

★日本はめる達人協会 特別認定講師



埴岡 知子 (はにおか・ともこ)

日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員

2 級キャリアコンサルティング技能士、メンタルヘルスマネジメント検定 II 種、高障求支援機構企業在籍型障がい者ジョブコーチ

自動車関連部品製造業、住宅施工会社にて 23 年人事系職種に従事。採用、育成、衛生管理に従事する中で、属性に関わらず全ての従業員が自分らしいキャリアを歩むための相談窓口となっている。社員の入社後の定着支援からメンタルケア、企業内キャリアコンサルティングとしてカウンセリングや研修講師として活動してしている。



島田 貴子 (しまだ・たかこ)

日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員

埼玉県出身。一児の母。現在、電子機器メーカーの人事部に所属し、キャリア開発チームの一員として活動中。社員一人ひとりの成長やキャリア形成を目指している。制度づくりや運用には難しさもあり、日々試行錯誤を重ねている。これからも、個人と会社のより良い関係づくりを目指し、前向きに取り組んでいきたい。

保有資格: 国家資格キャリアコンサルタント・産業カウンセラー

【コメンテーター】



高橋 浩 (たかはし・ひろし)

ユースキャリア研究所 代表

日本キャリア開発協会 理事。博士(心理学)・キャリアコンサルタント・公認心理師。法政大学大学院/目白大学大学院 講師。一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会副会長。

1987年、弘前大学教育学部卒業後、NECグループの半導体設計会社に24年間勤務し、エンジニア、品質管理、経営企画、キャリアアドバイザーに従事。1996年から心理学やカウンセリングを学び、2001年CDA、2012年博士号を取得。2012年、ユースキャリア研究所を開設。現在、行政・大手企業でのキャリア支援の実践とともに、キャリア関連の調査研究も行っている。著書『セルフ・キャリアドック入門』、『実践コミュニティアプローチ』『改訂版社会人のための産業・組織心理学』、他多数。

【司会】



岩田 敏 (いわた・さとし)

オフィス☆ポラリス 代表

写真関連メーカーで写真の営業・マーケティング、事業企画などに長く携わる。その後総務部長、写真プリント生産子会社の社長などを経て2019年退職し、フリーのキャリアコンサルタント・研修講師として独立。人事経験のない異色のキャリアコンサルタント。企業領域を中心に東京キャリア形成・リスクリング支援センター、働きがいと成長支援協会などで活動中。志を高く持ち、セルフ・キャリアドックの普及拡大をライフワークとして取り組んでいる。2級キャリアコンサルティング技能士。2023年より日本キャリア・カウンセリング学会企業領域連携強化委員会所属。

【企画者】



中村 彰秀 (なかむら・あきひで)

株式会社JTBグループ本社 人財開発チーム シニアコンサルタント

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 採択審査委員/News Picks 認定エキスパート

国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士、AFP

入社後、営業本部を経て、海外旅行部門にて方面部長、販売促進部長、CSR部長を歴任。2017年よりグループ本社にて人財開発担当部長として企画統括、人財開発基本方針を策定。社員の能力開発・キャリア開発・組織風土改革を担当。2022年に定年にて退職。継続雇用で引き続き人財開発を担当。

厚生労働省グッドキャリア企業アワード2020 大賞受賞。

●11月22日(土) 15:00-16:30

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

「対話会」でふかめ、ひろげる ～見えてきた「マイノリティ支援」の可能性

パネリスト	桜井 伸子	日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員会マイノリティ支援チーム
	寺山 昇	NPO 法人ライフキャリア・サポート協会 理事長
	堀川 歩	株式会社アカルク 代表取締役社長
	重光 喬之	NPO 法人両育わーど 理事長
	矢野 雷太	国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 消化器外科医長
	下村 英雄	労働政策研究・研修機構 統括研究員
司会、パネリスト	廣田 純子	Office Citrus 代表
委員長 挨拶	長久保 逸郎	日本キャリア・カウンセリング学会理事

【企画主旨】

今年新たに立ち上げた「マイノリティ支援を考える＜対話会＞」では、学会に所属する様々な領域の支援者が集い、対話を通じて考えを深め、視野やつながりを広げています。全4回、延べ約140人での対話会から見えてきたマイノリティ支援の可能性について、いくつかの視点からご紹介します。

【パネリスト】



桜井 伸子 (さくらい・のぶこ)

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員会マイノリティ支援チーム

2007年よりメーカーの人事部門に勤務。コンプライアンス課長、ダイバーシティ推進課長等を務め、ハラスメント防止やDE&I支援策を展開。活動を通じて多様な当事者の相談対応を経験する。2016年からカウンセリング室長を兼務。2020年に健康経営部門に移り全社メンタルヘルスケア体制を確立。定年以降はカウンセリング室運営を主務とし、学会など社外活動にも積極的に参加。2級キャリアコンサルティング技能士、精神保健福祉士、公認心理師



寺山 昇 (てらやま・のぼる)

NPO 法人ライフキャリア・サポート協会 理事長

キャリアコンサルタント更新講習 知識1技能5講座 厚労大臣から指定を受ける

厚生労働省埼玉労働局職員 (独)労働政策研究・研修機構 労働大学校 准教授

国立職業リハビリテーションセンター職業指導部職業指導課長等歴任 筑波大学大学院「キャリア・プロフェッショナル養成講座」修了 昨年の5月に脳出血(左視床出血)で倒れて3か月間入院 昨年の11月に復帰 著書「キャリア・カウンセリング エッセンシャルズ 400」分担執筆 日本キャリア・カウンセリング学会監修 金剛出版 「職業リハビリテーション用語集 障害者雇用・就労支援のキーワード」分担執筆 日本職業リハビリテーション学会監修 やどかり出版 他

**堀川 歩（ほりかわ・あゆむ）**

株式会社アカルク 代表取締役社長

出生時の性は女性として生まれるも、2018年にタイで性別適合手術を受け現在は戸籍上も男性となり1児の父となる。高校卒業後に陸上自衛隊に入隊し、任期満了後は自分の目で世界の現状を確かめる為に世界一周の旅に出発。

帰国後はLGBTQ+の方の総合サポート事業を個人で立ち上げる。

その後、ユニバーサルデザインのコンサルティング会社で東京支社の立ち上げや人事部長を務め2020年1月に株式会社アカルクを設立。

現在は多様な人が働きやすい職場作りの人事コンサルティングや、他社のダイバーシティ推進のプロジェクト全体を推し進める他、全国各地で研修や講演の講師も務める。

**重光 喬之（しげみつ・たかゆき）**

NPO 法人両育わーど 理事長

NPO 法人両育わーど 理事長、難病者の社会参加を考える研究会 発起人、多摩大学大学院医療・介護ソリューション研究所 フェロー。20代半ばに脳脊髄液減少症を発症し、二度の退職と寝たきり5年を経て、病気と共に働く時間的柔軟性のある働き方を仲間と模索中。主な症状は24h365dの疼痛で、痛みのストレスで円形脱毛症とせっかちさに拍車がかかる。

**矢野 雷太（やの・らいた）**

国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 消化器外科医長

2004年、広島大学医学部医学科卒。急性期から終末期まで伴走できる外科医を目指し、大腸肛門病の外科診療を中心に、在宅医療のバックアップ入院診療、緩和ケアなどにも注力。生活の質を改善する医療を提供するために「排便機能外来」を開設し、便秘、便失禁、術後排便障害、人工肛門ケアなど、排泄障害の診療も行っている。カフェでの定期イベントや、小学校での「がん教育」、日本福祉医療ファッション協会の理事など、病院外でも様々な形で医療情報の啓蒙活動を行っており、治療と仕事の両立支援についても、継続可能な院内システムを構築しつつ、改善を目指して模索を続けている。

**下村 英雄（しもむら・ひでお）**

労働政策研究・研修機構 統括研究員

筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士（心理学）。キャリア心理学専攻。東京成徳大学大学院講師、厚生労働省職業能力開発専門調査員、社会正義のキャリア支援研究会顧問。日本キャリア教育学会元会長。日本キャリア・カウンセリング学会元監事。主著に『キャリアコンサルティング理論と実際6訂版』（雇用問題研究会）、『社会正義のキャリア支援』（図書文化社）、『成人キャリア発達とキャリアガイダンスー成人キャリア・コンサルティングの理論的・実践的・政策的基盤』（労働政策研究・研修機構、平成26年度労働関係図書優秀賞受賞）他。国家資格キャリアコンサルタント、1級キャリアコンサルティング技能士。

【司会、パネリスト】**廣田 純子（ひろた・じゅんこ）**

Office Citrus 代表

一般社団法人がんと働く応援団理事、日本キャリア・カウンセリング学会理事、1級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、両立支援コーディネーター、健康経営アドバイザー、アスリートキャリアコーディネーター、障害者職業生活相談員。複数企業で人事総務職、管理職として多様な人、組織を支援してくる中で持った課題感と、自身の病気治療、ひとり親での子育てと仕事の両立の経験の課題感から、支援者の道へ。現在はキャリアコンサルタントとして、一般社団法人の理事として、多様な人がイキイキと活躍できる社会へ向けて、幅広い領域で「働く、生きる」の支援を続けている。

【委員長挨拶】**長久保 逸郎（ながくぼ・いつろう）**

日本キャリア・カウンセリング学会理事

●11月22日(土) 16:45~18:15

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

行動していますか? ~楠木新先生と考えるキャリア・カウンセラー自身のキャリア自律~

ゼミ主催	楠木 新	楠木ライフ&キャリア研究所 代表
楠木新ゼミ	杉山 輝美	第1期卒業生
	小島 浩嗣	第2期卒業生
	後藤 浩	第3期卒業生
司 会	吉田 聡	日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員会 楠木新ゼミ事務局
委員長挨拶	長久保 逸郎	日本キャリア・カウンセリング学会理事

【企画主旨】

ベストセラー『定年後』等多数の著書で知られる楠木新先生をゼミ主宰にお迎えし、どのような『もう一人の自分』を作り、これからも長く続く人生をいかに生き活きと過ごすか…を半年間に亘って対話しながら考える楠木新ゼミ。企業領域連携強化委員会主催でこれまで3期開催、当学会会員を中心に既に30名近くの卒業生を輩出しました。そこから浮かび上がってきたテーマのひとつが、「定年後も生き活きとしている人たちの共通点は皆『行動』していること、では、ミドルシニアが生き活きと生きていけるように支援する我々キャリア・カウンセラー自身は『行動』しているだろうか?」ということでした。

今回の第30回記念大会委員会企画では、楠木先生と第1期から第3期までのゼミ卒業生から三名の方をお招きし、「キャリア・カウンセラー自身の『キャリア自律』」をテーマに語り合ってください。楠木ゼミ実開催ながらのライブ感を是非ともお楽しみください。

【ゼミ主催】

楠木 新 (くすのき・あらた)

楠木ライフ&キャリア研究所 代表



1954年神戸市生まれ。1979年京都大学法学部卒業後、生命保険会社に入社。人事労務関係を中心に支社長などを経験。50歳から勤務と並行して取材・執筆に取り組む。2007年大阪府立大学大学院卒業(経営学)。2015年3月に定年退職。2018年から4年間、神戸松蔭女子学院大学教授(経営学)を務める。現在は、著述家として活動。

25万部超のベストセラーになった『定年後』をはじめ『左遷論』『定年後のお金』『転身力』(以上、中公新書)、『人事部は見ている。』(日経プレミア)、など著書多数。現在、地元神戸の落語の定席・喜楽館HPに『私が落語家になったワケ』を連載中。2024年R-1グランプリ一回戦敗退。

【楠木新ゼミ】

杉山 輝美 (すぎやま・てるみ)

日本キャリア・カウンセリング学会企業領域連携強化委員、国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士、JREA®認定 レジリエンストレーナー。ファッション業界へ入社し、営業部門と人事部門で30年にわたり従事。2021年にキャリアコンサルタント資格を取得し、企業内キャリアコンサルタントとして活動を開始。キャリア相談窓口の設置やSCDの導入を進め、従業員一人ひとりが自律的にキャリアを考えられる環境づくりに取り組む。今後は全国各地にキャリアコンサルタントを配置し、気軽に相談できる体制を整えるとともに、従業員同士がつながり、学び合える風土の醸成にも力を注いでいる。





小島 浩嗣（こじま・ひろし）

外資系企業勤務の傍ら 58 歳で社会人大学院に入学。キャリアデザインやシニア雇用を中心に学び、修了後は経営学研究科後期博士課程に進学。その間 60 歳で定年再雇用を迎え、研究テーマをあらためて定年再雇用に絞り、「自分事」として研究を継続中。自分自身の経験とともに楠木ゼミでの 50 代から 70 代までのシニア層の同僚・先輩からの学びや刺激は研究に大いに活かされている。



第 3 期卒業生 後藤 浩（ごとう・ひろし）

1991 年に新卒で大手印刷会社に入社して以来、フォトグラファー、フォトディレクターとして撮影・企画・制作の分野で 34 年間勤め 2025 年春に独立。昨年の春にキャリアコンサルタント資格を取得し、現在は、フォトグラファーとしての活動と並行して、多くの人にとってキャリアコンサルティングが身近なものになる道を探索中。

【司会】



吉田 聡（よしだ・さとし）

日本キャリア・カウンセリング学会 企業領域連携強化委員会 楠木新ゼミ事務局

信託銀行グループでバンキング、各種信託事業や内部監査の実務およびマネジメントに長年従事した後、定年後再雇用にて企業内大学の体制整備、e ラーニングシステムの開発、キャリアコンサルティング制度の設立に携わる。再雇用満了後も専門嘱託として引き続きキャリアコンサルティングおよびセルフ・キャリアドックの体制高度化に取り組むほか、東京キャリア形成・リスキリング支援センターや他企業においてもキャリア支援活動を展開、セカンドキャリアをキャリアコンサルタントとして「行動」中。

国家資格キャリアコンサルタント、CDA（JCDA 認定）、両立支援コーディネーター。

【委員長挨拶】

長久保 逸郎（ながくぼ・いつろう）

日本キャリア・カウンセリング学会理事

●11月23日(日) 10:00~11:30

現地対面 Zoom配信

今、考える「キャリア・カウンセリング」とは

シンポジスト	松本 桂樹	株式会社ジャパンEAPシステムズ 取締役
	原 恵子	埼玉学園大学人間学部心理学科 教授
	宮地 多佳	未知シルベ キャリアコンサルタント
司 会	星野 宏	キャリアサポートオフィス process 代表

【企画主旨】

日本産業カウンセリング学会から日本キャリア・カウンセリング学会へ改名し4年。本学会では新定義委員会を立ち上げて、「キャリア・カウンセリング」の定義を新たに検討してまいります。そのスタートとして、「キャリア・カウンセリング」とは何かを、参加者の皆様含めて考えるシンポジウムを企画いたしました。

このシンポジウムでは、3名のシンポジストから話題提供をして、リアルタイムで会場の参加者の皆様からご意見を投稿いただき、会場全体で「キャリア・カウンセリング」を考えます。いただいたご意見は、今後の委員会で「キャリア・カウンセリング」の定義に活用してまいります。経歴、立場、活動領域を超えて、社会インフラとしての指針となるべく「キャリア・カウンセリング」に向けて、皆様の声を発信ください。

【シンポジスト】

松本 桂樹 (まつもと・けいき)

株式会社ジャパンEAPシステムズ 取締役



東京学芸大学大学院修了後、精神科クリニックに入職。心理職として勤務する傍ら、日本初のEAP専門機関であるジャパンEAPシステムズの立ち上げを担い、相談室長、事業本部長、代表取締役社長を歴任。現在は取締役兼ビジョン・クラフティング研究所所長として主に人材育成支援に携わっている。臨床心理士、1級キャリアコンサルティング技能士、精神保健福祉士、公認心理師、健康経営エキスパートアドバイザーの資格を有し、厚生労働省「こころの耳」相談業務検討委員会委員長、産業領域SVネットワーク登録スーパーバイザー。著書に「部下が病気になる上司の技術」(WAVE出版)など多数。

原 恵子 (はら・けいこ)

埼玉学園大学人間学部心理学科 教授



筑波大学人間総合科学研究科修了、博士(カウンセリング科学)。キャリアコンサルタント、公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。ベネッセコーポレーション・同グループ人材派遣会社にて従事後、筑波大学人間系研究員・准教授等を経て現職。専門領域はキャリア心理学、産業・組織心理学。筑波大学働く人への心理支援開発研究センター客員研究員、日本女子大学非常勤講師、日本キャリア・カウンセリング学会(前副会長)、産業・組織心理学会(理事)、日本公認心理師協会、日本心理学会等。主な著書は、「働くひとの生涯発達心理学-M-GTAを通したキャリア研究-(晃洋書房)(1~3巻)」(共著)。

宮地 多佳 (みやち・たか)

未知シルベ キャリアコンサルタント



GCDF-Japan キャリアカウンセラー、国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士。大学卒業後、国際物流会社へ入社。社長秘書、総務業務を経験後、人材サービス業界へ転職。企業の採用支援や転職者相談に従事。2017年より、フリーランスのキャリアコンサルタントとして活動中。現在は、大学・高校のキャリア支援・キャリア教育、中小企業の新卒定着支援、職業訓練校のキャリアカウンセリング、中高生対象の福祉分野の面談等に携わっている。10代~70代を対象に、年間約500件の面談を実施。

【司会】



星野 宏（ほしの・ひろし）

キャリアサポートオフィス process 代表

教授システム学修士、1級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師。

メーカーでの生産管理・物流管理を経て人事に転職。2012年に独立後は、教育機関や産業労働分野で活動。現在は、高等学校での専属キャリアコンサルタントや、大学でのキャリア系科目非常勤講師、法人や自治体と協働した地域課題解決に取り組む教育プログラムの企画・運営等に携わっている。また、大学院で教授システム学を専攻し、キャリアコンサルタントの自己リフレクションに関する研究にも取り組んでいる。2025年6月より、本学会の新定義委員会委員長を務めている。

●11月23日(日) 12:15~13:45

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

PCAGIP トレーニング 2025 実践報告

パネリスト	石黒 俊彦	一般社団法人日本産業カウンセラー協会 上信越支部
	空 まどか	キャリアコンサルタント (個人) 認定心理士 (個人)
	滝本 耕太郎	訪問看護ステーションみのり
	中野 愛子	&Aco.
	細川 真由美	株式会社九州コミュニティカレッジ コーディネーター
	山田 亜由美	フリーランス 個人事業主
	武市 拓也	公益社団法人 北九州市障害者相談支援事業協会 主査
	南 陽子	日本キャリア・カウンセリング学会 研修委員会 PCAGIP 担当
司 会		

【企画主旨】

本学会研修委員会(事例検討担当)では、2025年1月から8月まで、3期目となる「PCAGIP トレーニング 2025」を開催しました。トレーニングでは、全員がPCAGIP法の5つの役割(話題提供者、ファシリテーター、コ・ファシリテーター、金魚、記録係)を体験しました。今回は、トレーニング参加者がその体験と感想をお伝えします。話題提供者として、ファシリテーターとして、コ・ファシリテーターとして、記録係として、それぞれの役割を全員が経験したからこそ、みえてきた景色、語れる言葉があります。

【パネリスト】

石黒 俊彦 (いしぐろ・としひこ)

一般社団法人日本産業カウンセラー協会 上信越支部

ACCN 北関東支部所属、JAICO 産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士、国家資格キャリアコンサルタント、精神保健福祉士

会社員を早期退職後に、相談業務に携わり二十数年。若年者を中心とした就労支援に携わる、障害者の就労支援を経験、ひきこもり状態の方の自立支援を担当している。PCAGIP法に出会いキャリアコンサルタントや就労支援の仲間と支援困難事例の事例検討会を企画し運営。



空 まどか (そら・まどか)

キャリアコンサルタント (個人) 認定心理士 (個人)

人や心理に関心がありキャリアコンサルタント資格を取得し、通信制の大学で心理マネジメントを学びました。エンカウンターグループにも参加する中でPCAGIPに出会いました。南さんをはじめトレーニング仲間が毎回温かく受け入れてくださり、安心安全の場がいつもそこにある。毎回のトレーニングが癒しの時間でもありとても楽しみでした。

これからもPCAGIPとともに歩んでいきたいと思っています。



滝本 耕太郎 (たきもと・こうたろう)

訪問看護ステーションみのり

看護師、精神保健福祉士

看護師として精神科病院で約10年勤務。患者が退院した先で、その人自身がその人らしい生活を営めるための支援を模索するなかで、2022年から訪問看護へ領域を移す。2024年から訪問看護ステーションみのりで精神科訪問看護に従事している。対人援助職のバーンアウトへの取り組みとして、PCAGIP事例検討法に魅力を感じ、現在研鑽中。





中野 愛子（なかの・あいこ）

&Aco.

マーケティング支援企業にて、アナリスト、営業企画、ソリューション営業部門のマネージャーを経て、人事職にキャリアチェンジ。人事部門にて、プレイングマネージャーとして、復職支援を含む体調不良者の対応、労務対応、セルフキャリアドックのテスト導入、キャリア相談窓口の立ち上げ、マネージャー支援施策の企画&実行を担当。50歳を機に会社を退職し、10カ月のキャリアブレイクの後に転職。現在は、BPO企業の人事部門のマネージャーを務めながら、キャリアコンサルタント、ワークショップファシリテーター、キャンドル作家として活動中。



細川 真由美（ほそかわ・まゆみ）

株式会社九州コミュニティーカレッジ コーディネーター

宮崎県生まれ。短大卒業後、就職氷河期に公的機関や情報カルチャースクール講師、製造業事務等で非正規雇用の就労を約20年経験。就職氷河期に辛酸を嘗めた経験から、「就職支援を求める人の力になりたい」という思いを仕事にしたいと考え、40代を機にキャリアチェンジを目指す。国家資格キャリアコンサルタントを取得し、現在まで若者の就職支援業務に7年間従事。就職・就労の相談支援や、学校におけるキャリア教育支援の講師として活動を行う。



山田 亜由美（やまだ・あゆみ）

フリーランス 個人事業主

今年の4月からフリーランスとして独立し、「自分らしく生きる」を目標に様々な仕事やボランティアに携わっています。その大きなきっかけとなったのが、PCAGIPです。だからこそ、深く学んでみたいと思い、PCAGIPトレーニング2025に参加しました。PCAGIPのおかげで、「自分らしく」とはどのようなあり方なのか、また、「自分らしく」生きれることの有難さを日々感じながらまだまだ成長中です。



武市 拓也（たけいち・たくや）

公益社団法人 北九州市障害者相談支援事業協会 主査

北九州市障害者基幹相談支援センター 地域生活支援拠点等コーディネーター / 主任相談支援専門員。関西福祉大学 社会福祉学部を卒業後、地域療育拠点施設にて相談支援業務に従事する。障害児者地域療育等支援事業コーディネーターなどを経て、北九州市障害者地域生活支援センターの相談員。令和2年より現職。平成30年から北九州市障害者自立支援協議会 事務局を兼務。その他、福岡県自立支援協議会研修部会委員、障害者相談支援ネットワークふくおか北九州ブロック運営委員

【司会】



南 陽子（みなみ・ようこ）

日本キャリア・カウンセリング学会研修委員会 PCAGIP 担当

2022年より本学会のPCAGIPトレーニングに関わる。2016年7月より対面とオンラインでPCAGIP法による「事例検討」を行う。『PCAGIP ネットワーク』メンバー。キャリアコンサルティング協議会 HP コラム「キャリアコンサルタントとPCAGIP法」(<https://www.career-cc.org/column/column000273.html>) を執筆。2024年度本学会実践賞受賞（PCAGIP法を用いた事例検討会の継続的な推進）

●11月23日(日) 14:00～15:30

現地対面 Zoom配信

若手キャリアコンサルタントの活動領域拡大を考える～ストレスチェック・健康経営等～

シンポジスト	星野 宏	キャリアサポートオフィス process 代表
	筒井 祐佳里	NPO 法人 a trio 理事長付
	中村 瑛一	厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課 メンタルヘルス対策・治療 と仕事の両立支援推進室 メンタルヘルス対策係長
司 会	石見 忠士	こころの耳運営事務局 事務局長

【企画主旨】

「キャリアコンサルタント資格は取ったけど、何もできていない…」、そのような声を多く耳にします。ですが、皆さんの日々の活動の中で、キャリアコンサルタントとして学んだことを活かす機会はたくさんあるのです！本シンポジウムでは、若手キャリアコンサルタント3名によるこれまでの幅広い現場での実践活動を紹介します。それぞれの現場での様々な課題や困難事例に対応した経験や学んだことを率直に語り合います。特に、困難時に存在する「見えない壁」にどう向き合うかを参加者と共に考え、工夫やコツを共有します。また、2028年5月までに全事業所で義務化されるストレスチェック制度に関連し、厚生労働省担当官の説明を交えて職場環境改善の必要性和具体的な対応策を探ります。最後には、今後の皆さんの活動のタネとなるものがお土産となるようなシンポジウムを目指します。

【シンポジスト（政策提言委員会）】

星野 宏（ほしの・ひろし）

キャリアサポートオフィス process 代表

教授システム学修士、1級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師。

メーカーでの生産管理・物流管理を経て人事に転職。2012年に独立後は、教育機関や産業労働分野で活動。現在は、高等学校での専属キャリアコンサルタントや、大学でのキャリア系科目非常勤講師、法人や自治体と協働した地域課題解決に取り組む教育プログラムの企画・運営等に携わっている。また、大学院で教授システム学を専攻し、キャリアコンサルタントの自己リフレクションに関する研究にも取り組んでいる。2025年6月より、本学会の新定義委員会委員長を務めている。



筒井 祐佳里（つつい・ゆかり）

NPO 法人 a trio 理事長付

キャリアコンサルタント・産業カウンセラー。銀行系シンクタンクにてセミナー企画・教育プログラム開発・経営者向け情報誌編集を経験後、独立。企業研修や人材育成コンサルティングに携わる一方、NPOにおいて学生のインターンシップ事業、障がい者雇用支援、女性の就労支援など地域に根差した活動を展開している。アンケート調査や面談を通じて、フィードバックを行いながら、研修を実施する形式で、組織課題を可視化し改善につなげる伴走型の支援を行い、様々な業種・職種より評価を得ている。また、親子キャリアコンとして、親子でキャリアを語りあう重要性を発信している。





中村 瑛一（なかむら・えいいち）

厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課 メンタルヘルス対策・治療と仕事の両立支援推進室 メンタルヘルス対策係長

保健師、看護師、修士（社会福祉学）。厚生労働省職業安定局、雇用環境・均等局での勤務などを経て現職。ストレスチェック制度をはじめ、職場におけるメンタルヘルス対策を担当。

【司会】



石見 忠士（いわみ・ただし）

こころの耳運営事務局 事務局長

キャリアコンサルタント、公認心理師。2008 年より東京産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策促進員として活動。当時 300 社以上を支援し、メンタルヘルス研修や職場復帰支援プログラムの作成支援などを行う。2011 年より現職。厚生労働省委託事業「こころの耳」サイト事業の運営責任者としてメンタルヘルスに関する法・制度の最新動向はもちろん、全国の先進・良好事例を自ら取材し、働く人・家族・組織に役立つ情報を提供している。サイト利用者はこの 14 年で多い年で 25 倍以上に増加。2024 年より日本公認心理師協会産業・労働分野委員会委員長。主な著書「日本で一番やさしい職場のストレスチェック制度の参考書」

●11月23日(日) 14:00～15:30

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

大学におけるキャリア教育の課題と展望 ―新たなフェーズに向けてのヒントを探る―

シンポジスト	三川 俊樹	追手門学院大学心理学部 教授
	山本 和美	国立大学法人山梨大学 教育統括機構キャリアセンター特任教授
	川端 由美子	国立大学法人 和歌山大学 キャリア教育・支援部門 副部門長/講師
ファシリテーター	古田 克利	法政大学キャリアデザイン学部 教授
司 会	新井 香子	パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社 講師・コーディネーター

【企画主旨】

大学におけるキャリア教育は、大学設置基準改正(2010)により急速に拡大し、現在、大学の97.9%が教育課程内で実施されているものの、学校教育を構成していくための理念と方向性を示すものとされていることから、その方法は様々ではないことが指摘されています。「キャリア教育」という文言が公的に登場してから25年経った今、社会構造の変革や三省合意(2022)などを背景に、特に大学のキャリア教育は大きな過渡期にあると言えるのではないのでしょうか。本企画では、大学のキャリア教育に焦点をあて、①キャリア教育の黎明期を支えてきた立場からの問題意識、②多様な学生の課題、③キャリア教育を就活支援も含めた広義の意味で捉え、その担い手としてのキャリアコンサルタントの課題、と様々な視点から課題などを共有します。ファシリテーターを通じて、参加者の皆様と大学におけるキャリア教育の新たなフェーズに向けたヒントを探ります。

【シンポジスト】

三川 俊樹(みかわ・としき)

追手門学院大学心理学部 教授



1986年3月大阪大学人間科学研究科博士前期課程修了(学術修士)。1987年4月追手門学院大学文学部助手。講師、助教授を経て、2004年4月人間学部教授、2006年4月心理学部教授、現在に至る。専門はカウンセリング心理学。この間にキャリア開発部長を兼務し、大学4年間を通じた正課の授業と就職・進路支援行事が連携した「追大キャリア形成支援プログラム」に関与した。2006年度には日本学生支援機構による「大学等の就職・キャリア支援担当者のための研修プログラム構築に関する報告書」を基礎に設計された「就職・キャリア支援研修会」を担当し、後に「就職・キャリア支援教職員研修会」として2011年度まで継続した。

山本 和美(やまもと・かずみ)

国立大学法人山梨大学 教育統括機構キャリアセンター特任教授



日本キャリア・カウンセリング学会 キャリア教育委員会委員長。山梨大学キャリア形成部門長。国家資格2級キャリアコンサルティング技能士。埼玉大学大学院教育学研究科学校教育専攻(心理・教育実践学専修)博士前期課程修了(教育学修士)。筑波大学人間総合科学学術院教育学学位プログラム博士後期課程在籍中。大学生から社会人向けのキャリアカウンセリングおよびキャリアデザイン講師のほか、学校コンサルテーション、企業向け社員研修と、幅広い層のカウンセリングおよびコンサルティングに尽力してきた。主な研究テーマは、発達障害傾向のある学生(グレーゾーン)への支援。



川端 由美子 (かわばた・ゆみこ)

国立大学法人 和歌山大学 キャリア教育・支援部門 副部門長/講師

1 級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー。大学卒業後、金融機関で教育・採用業務に従事。結婚および配偶者転勤を機にキャリアコンサルタント業を開始。函館・東京・新潟での勤務歴あり。2009 年より大学のキャリアセンター勤務。この間、2019 年に北海道大学大学院教育学院教育学専攻博士課程を修了、博士（教育学）。専門は人的資源管理論（特に転勤）、キャリア形成。2024 年より現職、国立大学勤務は 3 校目。1 級および 2 級キャリアコンサルティング技能士資格を目指す人を対象にしたスーパーバイザーも行っている。



古田 克利 (ふるた・かつとし)

法政大学キャリアデザイン学部 教授

博士（技術・革新的経営）。専門は組織行動論。1997 年富士通株式会社入社（官公需営業本部配属）。パナソニックシステムデザイン株式会社のシステムエンジニア、経営企画課長、人事課長を経て、2011 年 4 月より大学教員に転じる。関西外国語大学英語キャリア学部准教授、立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科教授を経て、2025 年 4 月より現職。主著に『IT 技術者の能力限界の研究－ケイパビリティ・ビリーフの観点から』（日本評論社、日本労務学会学術賞受賞）。日本キャリア教育学会 理事、経営行動科学学会 監事。

【司会】



新井 香子 (あらい・きょうこ)

パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社 講師・コーディネーター

2020 年昭和女子大学生生活機構研究科心理学専攻修士課程修了 2018 年通信事業会社退職後、フリーランスとして行政・大学・企業内外のキャリアコンサルタント業務に従事。2021 年より駒沢女子大学/キャリアプランニング、2023 年より東京成徳大学/社会人リテラシーの授業を非常勤講師として担当。並行し 2023 年 4 月より都立高校生の職場体験プロジェクト事務局メンバーとして、企画、企業開拓、高校生向けビジネスマナー研修登壇、職場体験引率業務に従事。

●11月23日(日) 15:45~17:15

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

国際的な論文について触れてみよう

話題提供者	三好 真	大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師
サポーター	国重 浩一	一般社団法人ナラティヴ実践協働研究センター
	浅野 衣子	株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役
	三宅 麻未	大手前大学 経営学部 講師
	新免 玲	日本女子体育大学特任准教授

【企画主旨】

国際交流委員会は、2021年度より、本学会として海外からの知識をどのような姿勢で取り込むのか、また、キャリア理論だけではなくカウンセリングそのものにしっかりと取り組むことの必要性などについて発信してきました。この取り組みを引き続き展開し、委員会にて実際に国際的な文献に触れ、その知見に対する理解を深める場を持ってきました。大会では、その会を基に、当日ご参加の皆さまと共に国際的な文献に触れ、その知見に対する理解をさらに深める場を提供します。ぜひ、楽しく共に学ぶ機会を持てたら幸いです。

【話題提供者】

三好 真 (みよし・まこと)

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師

米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。帰国後は、スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループ・ワークを応用する手法を用いている。



【サポーター】

国重 浩一 (くにしげ・こういち)

一般社団法人ナラティヴ実践協働研究センター

1964年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド(NZ)ワイカト大学カウンセリング大学院修了。臨床心理士、NZカウンセラー協会会員。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013年からNZに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地NPO法人ダイバーシティ・カウンセリングNZを立ち上げる。2019年には東京に一般社団法人ナラティヴ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2023年9月に拠点をNZから滋賀県に移す。

著書に『ナラティヴ・セラピーの会話術』『震災被災地で心理援助職に何ができるのか?』『どもる子どもとの対話』など。



浅野 衣子 (あさの・きぬこ)

株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役

キャリア開発カウンセラー(JICD・キャリア開発研究センター認定)、キャリアコンサルタント、認定スーパーバイザー(日本キャリア・カウンセリング学会認定)、ナラティヴ実践協働研究センタースターティングメンバー、地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー

同志社女子大学卒業後、阪急百貨店にて販売・仕入れ担当を経て、従業員の能力開発、顧客満足推進に従事。2001年独立。多様なニーズを持った方々のキャリア支援としてカウンセリングやワークショップを実施。またスーパービジョンなど、対人支援者の支援をライフワークとして取り組んでいる。





三宅 麻未 (みやけ・まみ)

大手前大学 経営学部 講師

博士(商学) 大手前大学 経営学部 講師、国家資格キャリアコンサルタント、米国 CCE Inc. 認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー、当学会社員

慶応義塾大学卒業後、国内化粧品メーカーのマーケターを務める。米国 Hult International Business School, M.B.A. 修了後は外資家電メーカーのブランディングマネージャーや地方創生プロジェクトなど約 10 年にわたり「社会への価値提供」をテーマに多彩な経験を積む。博士(商学)取得後は大学にて経営学の教鞭を執るかたわら、キャリアコンサルタントの国家資格を活用し幅広い世代の相談に応じている。



新免 玲 (しんめん・れい)

日本女子体育大学特任准教授

横浜市立大学特任講師。日本キャリア・カウンセリング学会理事、国際交流委員長。公認心理師、国家資格キャリアコンサルタント、2 級キャリアコンサルティング技能士。アメリカ州立大学卒業後から主に英語教育企画、キャリアコンサルティングに携わる。熊本大学大学院教授システム学修士。20 年ほど企業、組織側の採用コンサルティングから個人のキャリア形成支援に携わる。最近では、心理キャリア支援プログラムの開発研究に取り組んでいる。厚生労働省指定、国家資格キャリアコンサルタント更新講習「外国人留学生のキャリア支援」の講師。『キャリア心理学 強みデザイン・ガイドブック』(共著 ナカニシヤ出版)

●オンライン交流会

11月22日(土) 18:30-20:00

Zoom配信

日本キャリア・カウンセリング学会の大会は、参加者同士が直接交流し、活発にコミュニケーションを深められる場として年に一度の参加を楽しみにしている方も多いでしょう。対面参加では1日目の夜、情報交換会があります。オンライン参加のみなさんとも、せっかく大会に参加されているのですから、久しぶりの交流の時間、つながりを作る広げる機会を作りたいと思い、ここ数年オンライン交流会を開催しています。ご自身の活動や関心事、参加しての感想や学会活動への疑問など、自由にお話しいただけるような場にしたと思っています。限られた時間ですが、新しいつながり作りが出来るといいですね。会員・非会員問わず、今回初参加の方も歓迎します。当日は、指定の zoom URL にどんどん入ってきてください。お待ちしております。

【モデレーター（交流活性化委員会）】

福本 由美（ふくもと・ゆみ）



日本キャリア・カウンセリング学会 交流活性化委員 委員長

今年6月から委員長を拝命しました。当日は、愛媛から現地で参加いたします。現地学会参加は初めてです！オンラインでお会いした方、初めてお会いする方のご参加大歓迎です。日本全国にいらっしゃる学会員さんや非会員さんとゆるゆるつながって学会と一緒に楽しみましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

大本 章代（おおもと・あきよ）



日本キャリア・カウンセリング学会 交流活性化委員

大学卒業後、様々な環境での職務経験を通し、働く人々の生き方・働き方、メンタルヘルス支援に関わりたいと強く思い、カウンセリング、キャリアコンサルティングの道に。これまで学生・若者の就職支援やジョブ・カードを活用した中長期的なキャリア形成支援等に携わる。キャリアコンサルタントの育成にも力を入れており、仲間との交流の場、ネットワーク形成・連携の場を作り出せるよう、実施に向けて取り組んでいる。

学会の交流活性化委員では「顔が見える会員同士のつながり」が広がることを目指して活動中。

国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士、産業カウンセラー、シニア産業カウンセラー、社会福祉士

加賀谷 晴美（かがや・はるみ）



日本キャリア・カウンセリング学会 交流活性化委員

北海道札幌市在住、文系私立大学職員としてキャリアセンターの学生相談・キャリア教育（1年～4年）・企業訪問・高校訪問等を約15年担当し2024年3月退職、在職中にCDA、技能士、国家資格キャリアコンサルタントを取得。NPO 育て上げネットの無業化や孤立の予防を目的とした「金銭基礎教育プログラム」MoneyConnection®認定ファシリテーターとして学内および道内高校にてプログラムを実施。現在は、需給調整機関相談員や研修講師・JCC 日本キャリア・カウンセリング研究会理事としてキャリア形成支援に関わっている。

●スーパービジョン相談サロン（無料）

11月22日（土） 16:45-18:15

現地対面

第30回記念大会では、昨年度に引き続き「スーパービジョン相談サロン」を開催します！

スーパービジョン相談サロンでは、「スーパービジョンをもっと身近に！」を合言葉に、「スーパービジョンを知りたい」「スーパービジョンを受けたい」「スーパーバイザーになりたい」など、スーパービジョンに対するさまざまなご要望やご相談をお受けします。

なお、当日の同じ会場で、「ライブスーパービジョン2」（15:00～16:30）として、「スーパービジョンの魅力と効果Ⅲーライブ方式によるスーパービジョンとSVメンタリングの実際」が開催されますので、併せてご参加ください。

対 象	第30回記念大会参加者（非会員の方も大歓迎です）
日 時	2025年11月22日（土）16:45～18:15（90分）
場 所	第30回記念大会会場（帝京平成大学・池袋キャンパス）
参加方法	予約不要

【スーパービジョン相談サロン - 3つのエリア】

第1エリアは、「スーパービジョンを知りたい」という方におすすめです。「スーパービジョンって何？」「スーパービジョンはカウンセリングとどう違うのか？」「スーパービジョンに興味・関心はあるが、その内容がよくわからない」「スーパービジョンと事例検討・事例指導の違いを知りたい」など、スーパービジョンに関する疑問や質問にお答えします。

第2エリアは、「スーパービジョンを受けたい」という方におすすめです。「自己研鑽のためにスーパービジョンを受けたいが、スーパーバイザーを知らない」「どのようにしてスーパーバイザーを探せばよいのか？」などのお悩みから、スーパービジョンを受けるための事前準備やスーパービジョンの上手な受け方など、スーパービジョンを効果的に活用しようと考えている方に、具体的な情報やアドバイスを提供します。

第3エリアは、「スーパーバイザーになりたい」という方におすすめです。日本キャリア・カウンセリング学会が13年にわたって実施してきたスーパーバイザー養成講座のカリキュラムを基に、スーパーバイザーになるための訓練（スーパービジョン・メンタリング）の実際について紹介しながら、ご相談に応じます。

【担当する相談員（50音順）】

小澤 康司

立正大学心理学研究科長。学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター。臨床心理士、公認心理師、キャリアコンサルタント。カウンセラーとしての成長を目指すにはスーパービジョンが不可欠です。学会のスーパービジョンは、学派を超えたスーパービジョンモデルで行っていますので、安心してぜひご参加ください。

寺田 正美

学会認定スーパーバイザー・スーパービジョンメンター、上級教育カウンセラー等。長年月企業研修講師、大学にて産業カウンセリング担当講師等。1955年頃よりACAにてスーパービジョンについて学び、刺激を受け、2003年「Supervision

Strategy」を共訳。本学会スーパーバイザー養成講座のスタート時より、スーパービジョンの探求・指導を継続。まずはスーパービジョンを受け、自己成長する喜びを体験していただけたらと願っています。

三川 俊樹

追手門学院大学心理学部教授。本学会の前身であった日本産業カウンセリング学会のスーパーバイザー養成講座の準備段階からスーパーバイザーの養成訓練に携わってきました。カウンセリング、スーパービジョン、スーパービジョンメンタリングという3つの活動が同じ構造をもっていることを基礎に、カウンセラー、スーパーバイザー、スーパービジョンメンターの養成訓練に取り組んでいます。

八巻 甲一

(株)日本・精神技術研究所（日精研） 相談役、ナラティブ実践協働研究センター（NPACC）スターティングメンバー、学会認定スーパーバイザー、日精研認定「アサーション・トレーナー」、日本アサーション協会認定「CAAT ファシリテーター」、JICD 認定「キャリア開発カウンセラー」。専門はカウンセリング実践とアサーション講師。

【関連情報】

- スーパービジョン入門講座 第3回

テーマ：効果的なスーパービジョンができるスーパーバイザーになるために

2025年12月7日(日) 10:00~16:00 (5時間：オンライン開催) 講師：三川俊樹

●研究相談サロン（無料）

11月23日（日） 10:00～11:30

現地対面

研究に興味はあるがやり方がわからない、既に研究を始めているが困っている、大会発表や投稿の準備をしたいなど、研究に関して気楽に相談できる場です。本学会の研究委員と相談ができます（20～30分程度）。他学会では類を見ない本学会ならではのサービスです。複数人でワイワイガヤガヤお話することもできます。

参加費無料（大会参加費に含まれています）、予約不要、出入り自由ですから、研究に興味ある方は、お気軽にふらっと立ち寄ってみませんか。

【注意事項】相談員は、助言・提案・情報提供を行うことがありますが、それをどのように活用するかについてはご自身の責任と判断で行ってください。満席の場合は、最大 30 分ほどお待ちいただく場合がございます。

【対応する相談員（50音順）】

高山 美穂（たかやま・みほ）

オリンパス株式会社 HR 組織人材開発部門 課長代理



医療機器メーカーHR 所属キャリア形成支援担当。国家資格キャリアコンサルタント、2級キャリアコンサルティング技能士。名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士前期課程修了、修士（心理学）。卒業後は建築業や金融業、人材紹介業で経営企画から個人・法人営業職まで多岐にわたる分野を経験し、現職。2020年より社内のキャリア支援、相談業務立ち上げに携わり、現役の企業内キャリアコンサルタント。

中丸 世紀（なかまる・せいき）

エールフランス KLM プロキュアメント スペシャリスト



博士後期課程を修了後、企業に勤務しながらも、筑波大学大学院にて、倫理審査事前チェック員、授業アシスタント、統計相談員などを担当しております。研究計画、調査、論文執筆など、様々なご質問をお待ちしております。

古田 克利（ふるた・かつとし）

法政大学キャリアデザイン学部 教授



博士（技術・革新的経営）。専門は組織行動論。1997年富士通株式会社入社（官公需営業本部配属）。パナソニックシステムデザイン株式会社のシステムエンジニア、経営企画課長、人事課長を経て、2011年4月より大学教員に転じる。関西外国語大学英語キャリア学部准教授、立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科教授を経て、2025年4月より現職。主著に『IT技術者の能力限界の研究－ケイパビリティ・ビリーフの観点から』（日本評論社、日本労務学会学術賞受賞）。日本キャリア教育学会 理事、経営行動科学学会 監事。

堀内 泰利（ほりうち・やすとし）

筑波大学働く人への心理支援開発研究センター 研究員



筑波大学大学院人間総合科学研究科修了、博士（カウンセリング科学）。キャリアコンサルタント、公認心理師、1級キャリアコンサルティング技能士。NECで長く人事・人材育成を担当、2002年にキャリア支援施策を立ち上げ、以降キャリアアドバイザーとして従業員のキャリア形成支援に携わる。2014年から現職。専門領域はキャリア心理学、産業・組織心理学。著書に『働くひとの生涯発達心理学-M-GTAを通じたキャリア研究（1巻）』（執筆分担、晃洋書房）、『生涯発達の中のカウンセリングⅢ』（執筆分担、サイエンス社）などがある。



前田 具美 (まえだ・ともみ)

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会勤務。キャリアコンサルタント。筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻修了、博士（生涯発達科学）。建設会社勤務後、キャリアコンサルタントとしての活動を経て現職。主な研究テーマはキャリアコンサルタントの成長。主著『第5章 組織内キャリア支援を推進するキャリアコンサルタントの役割意識や行動はどのように変化するのか』（働くひとの生涯発達心理学 Vol.3 M-GTA によるキャリア研究）。第2回キャリアコンサルタント登録者の活動状況等に関する調査 第4章。



三好 真 (みよし・まこと)

大妻女子大学 専任講師

全米認定カウンセラー (National Certified Counselor)

米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。帰国後は、スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループワークを応用する手法を用いている。専門は尺度研究、現象学的質的研究。

●11月22日(土) 13:15～14:45

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

W1

より良い実践のための研究～研究の前と後から考える～

今回は“わからない”がキーワードです。十年ほど前にも同様のテーマを担当しました。学会として学術的な研究は欠かせません。そのためにも実践から学ぶことは不可欠です。同時に、“疑う”ことも忘れてはなりません。エライ人の理論、巷の言説、新たな用語…？研究のための研究ではなく、研究は実践をより良いものにするためにあります（この“より良い”というのも曲者ですが）。働く人々もその支援に当たる人々のためにも、研究という創造的アプローチをどう楽しむか、参加された皆さんと探ってみましょう。主観と客観の生かし方、統計の活用と危うさ、実験の工夫とデザインなど取り上げる予定です。

【講師】

五十嵐 敦（いがらし・あつし）

独立行政法人 労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター 相談員

2023年福島大学名誉教授・放送大学客員教授。2003年から産業保健総合支援センター相談員やメンタルヘルス促進員。2020年に（社）キャリア支援実務研修センター顧問。職業心理学、キャリア発達心理学が専門。本学会研究委員、編集委員を経験。最近の著書等は2025年『これからの「働くこと」とその支援について』日本労働研究雑誌.No.774、2023年監修「人間の仕事」(Blustein D.L. 2014) 白桃書房。過去の科研費研究は「交代制勤務と日中の眠気」を軸に人材育成とキャリア形成、過重労働とメンタルヘルスなど検討してきました。



●11月22日(土) 15:00～16:30

現地対面 Zoom配信 アーカイブ公開

W2

解決志向ブリーフセラピーのエッセンス ～発想を学び技法を活かす～

解決志向ブリーフセラピーは、「問題」や「原因」に焦点をあてる従来の発想とは異なり、クライアントの望む「未来」や「解決」の状態、および「リソース（もっている力や資源）」や強み、また、うまくやれているとき（例外）に焦点を当て、それらを活かし発展させることで、解決をつくっていく画期的なカウンセリング手法です。シンプルで安全性が高く、効果性効率性に優れた未来志向の手法であることから、世界的に多領域で活用されています。解決志向ブリーフセラピーは、洗練された特徴的な技法をもち、それが実用面で強調されがちですが、大切なことはその発想の前提や対話姿勢にあります。

本研修では、技法を成立させている発想や基本姿勢をお伝えし、解決志向の対話技法を実践によりよく活かすためのエッセンスをつかんでいただくことを目指します。

【講師】

黒沢 幸子（くろさわ・さちこ）

目白大学 心理学部 特任教授

臨床心理士、公認心理師、産業カウンセラー。KIDS カウンセリングシステム チーフ。現在、目白大学心理学部/同大学院心理学研究科 特任教授。上智大学・駒澤大学大学院ほか、兼任講師。日本ブリーフサイコセラピー学会理事、日本心理臨床学会理事、日本コミュニティ心理学会副会長。内閣官房依存症対策推進関係者会議委員等。幅広い臨床経験（教育・医療・産業等）を背景に、クライアントや組織、コミュニティを活かすリソース・未来志向を重視した臨床スタイルが持ち味。日本ブリーフサイコセラピー学会学会賞受賞。主著は『未来・解決志向のブリーフセラピーへの招待』、『森・黒沢のワークショップで学ぶ解決志向ブリーフセラピー』等。



W3

中高年期の心理臨床—マクロとミクロの視点からの多層的アプローチ—

中高年期にある人は自分のことだけでなく、仕事や家庭のなかで起こる様々な困りごとの解決を求められている当事者である。個人をとりまく多様な状況の中で何に悩み、どのような人生上の課題をかかえているのだろうか。そのことにどのように向かい合っているのだろうか。そのサポート体制はどのようなになっているのだろうか。カウンセリングも含めて、どのような支援をしていったらいいのだろうか。本研修会では、このような問いに対して、マクロとミクロの2つの視点から答えを探る。

まず、マクロの視点から中高年をとりまく背景にある社会的・個人的要因を概観し、整理する。次に、高齢期も含めた生涯発達心理学の視点から、中高年期の心理的な特徴について整理、分析する。そして、中高年期にある人の支援のあり方について公助・共助・互助・自助の枠組みを押さえた上で、ミクロの視点から、個別性を踏まえた支援のあり方について探っていく。

【講師】



大川 一郎（おおかわ・いちろう）

埼玉学園大学 教授

現在の所属；埼玉学園大学人間学部教授・人間学部長、大学院心理学研究科長

筑波大学名誉教授、放送大学客員教授、一般財団法人田中教育研究所理事長

最終学歴：筑波大学大学院博士課程心理学研究科心理学専攻

学位：博士（心理学・筑波大学）

資格：臨床心理士、公認心理師

主な著書：生涯発達の心理学—理論と実践への問い—（共著書、2025、福村出版）、田中ビネー知能検査 VI（監修、2024、田研出版）、新訂 中高年の心理臨床』（共編著、2020、放送大学） 他

W4

対人支援に活かす 実践アドラー心理学

社会が多様化し、コンプライアンスが重視される中で、仕事や人間関係は従来のやり方では通用しないことを多くの方が直面しているのではないのでしょうか？アドラー心理学は「自分を知り、他者を知ること」により、自身と他者、そして、仕事・交友・愛といった社会との良好な関係性を築くため、その突破口となる可能性を大きく秘めています。本研修では、アドラー心理学における「共同体感覚」をもとに、「勇気」や「勇気づけ」「課題の分離」についての理解、そして、対人支援やカウンセリングの場におけるクライアントとの関わり方、勇気欠乏症ともいえる今の時代にこそ必要なアドラー心理学を、初めて学ぶ方も、アドラー心理学をすでに学ばれている方も、今だからこそ社会生活・対人支援に活かせるアドラー心理学を実践していく大きな機会として、皆様と一緒に学んでいきたいと思います。

【講師】



梶野 真（かじの・まこと）

一般社団法人 日本アドラー心理学協会 代表理事

1972年神奈川県横浜市生まれ。拓殖大学商学部卒業。2008年米ミネソタ州・アドラー心理学大学院（Adler Graduate School）へ留学。臨床、家族、キャリア、コーチング等のプログラムを修了し、アドラー心理学修士号を取得。アドラー心理学専門家の育成、東京・池袋にある千村クリニックで心理カウンセラー、母校拓殖大学ボクシング部でメンタルコーチを務めている。19年仲間と共に日本個人心理学会を設立。25年10月日本アドラー心理学会との合同大会にて大会長を務める。著書『アドラー心理学を深く知る 29のキーワード』（単著・祥伝社）、『仕事も人生もうまくいく実践アドラー心理学（監修・ナツメ社）

W5

組織の見立てと働きかけの設計—組織開発の視点から—

個人の支援だけではなく、組織への働きかけは、どのように可能になるでしょうか。この研修会では、組織開発の視点から、個人面談での課題意識を皮切りに、次の一步を踏み出した先にあることを探ります。具体的には、仮想のケースを使いながら、組織開発を進めていく過程を追体験していただこうと考えています。個人面談を通して課題が浮かび上がり、それについて関連する人に話を聞きながら、それを企画の形にして、実行に移していく過程をたどります。これらを通して、組織への働きかけのイメージを少しでも持っていただければと思います。ともに探究できる時間を楽しみにしています。

【講師】

土屋 耕治（つちや・こうじ）

南山大学 人文学部 准教授



南山大学人文学部心理人間学科准教授、同大学人間関係研究センター員を兼任。OD Network Japan 理事。専門は社会心理学、組織開発、体験学習。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得退学。米国 NTL Institute OD Certificate Program、英国 The Tavistock Institute of Human Relations “P3C” 修了。公認心理師。近著に『人間関係の学び方—人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（共編著、ナカニシヤ出版）がある。

W6

カウンセリング実践に機能しているフォーカシングα（アルファ）

「フォーカシングは方法だ」と考える人が多いが、辿ってみると1960年代では、それはカウンセリングで成功するクライアントがしている静かで「重要な内なる行為」(crucial inner act)だと記述されている。ユージン・ジェンドリンは1964年の論文でその内なる行為には4つの局面があるとして、それを「フォーカシングの4つの位相」と記述していた。そこから十数年後に、この「重要な内なる行為」を人に教える方法を考案して、これも「フォーカシング」と名付けた。この時点で、「フォーカシング」には二つの意味が生じてしまった。「重要な内なる行為」としてのフォーカシングと人に教える方法としてフォーカシングだ。筆者は前者をフォーカシングαとし、後者をフォーカシングβと呼んでいる。当日は、体験過程など「重要な内なる行為」の諸側面やそれらがどのようにカウンセリング実践において機能しているかを検討する。

【講師】

池見 陽（いけみ・あきら）

関西大学名誉教授



Boston College, BA、University of Chicago MA、産業医科大学（医博）。産業医科大学講師、岡山大学助教授、神戸女学院大学教授、関西大学教授を経て現在名誉教授。英豪の大学で博士論文審査官。日本フォーカシング協会会長、日本人間性心理学会理事などのほか英米の国際学会理事を歴任。アメリカ心理学会ハンドブック、講談社現代新書『心のメッセージを聴く』ほか、180篇以上の著作・論文・訳論などを英語と日本語で執筆。アメリカ・カウンセリング協会にて「存命の輝ける大家」(Living Luminary)に指名され(2019)た。2020

年に日本人間性心理学会より学会賞受賞。

W7

知っておきたい ニューロダイバーシティの基礎知識

ニューロダイバーシティという言葉をご存じでしょうか？

この言葉はニューロ（脳・神経）とダイバーシティ（多様性）を組み合わせた造語で、人の脳や神経由来の多様性を尊重するメッセージが込められています。もともとは 1990 年代に自閉スペクトラム症の成人当事者たちが生み出し、社会運動の中で育まれてきた経緯があります。日本においても、2022 年に経済産業省の Web サイトに「ニューロダイバーシティの推進について」というページが作られるなど、特に発達障害者の雇用の文脈において認知が広まりつつあります。

しかしながら本来この言葉が意味するところは、発達障害者という限られた人たちだけの話ではなく、あらゆる人が自分事として考えるべきテーマです。キャリアカウンセリングの基礎リテラシーの 1 つとなるべき概念だと思います。本公演では、そんなニューロダイバーシティに関する基礎知識を分かりやすくお伝えします。

【講師】

**村中 直人**（むらなか・なおと）

Neurodiversity at Work 株式会社 代表取締役

臨床心理士・公認心理師

人の神経学的な多様性に着目し、脳・神経由来の異文化相互理解の促進、および働き方、学び方の多様性が尊重される社会の実現を目指して活動。2008 年から多様なニーズのある子どもたちが学び方を学ぶための学習支援事業「あすはな先生」の立ち上げと運営に携わり、その後「発達障害サポーター's スクール」での支援者育成にも力を入れている。現在は企業向けに日本型ニューロダイバーシティの実践サポートを積極的に行っている。

表彰式

●11月22日（土） 9:45～10:25



第29回大会 個人研究発表	優秀賞	尾野 裕美 殿
同	優秀賞	堀川 妹乃・石山 恒貴 殿
同	奨励賞	高山 美穂 殿
同	奨励賞	藤井 由香里 殿
同	奨励賞	堀口 恵子 殿

今年度の学会賞、学術賞、実践賞、国際貢献賞、学会功労賞については、表彰式当日に発表いたします





—————昨年度実践賞受賞講演—————

南 陽子 殿

「私たちの実践を支えていくもの～PCAGIP 法の実践から～」



研究発表・実践報告・学位研究発表

※ “○”は主たる発表者

11月22日（土）

13:15～14:45 座長：山本 和美（山梨大学）

現地対面 Zoom配信

R01	① 研究発表 13:15～13:45 行動や挑戦を支援することの必要性に関する探索的研究～学生に対する行動や挑戦に関する質問紙調査から ○渡部 昌平
	② 研究発表 13:45～14:15 インターンシップ経験によるキャリア選択自己効力感の変量とキャリア探索意図の関係 ○堀田 彩、佐伯 駿
	③ 研究発表 14:15～14:45 大学におけるキャリア教育の幅と奥行きーシラバスに見る出口支援ー ○山本 和美

13:15～14:45 座長：中村 准子（筑波大学）

現地対面 Zoom配信

R02	① 実践報告 13:15～13:45 集団効力感の形成要因に関する実証的研究チームの「やればできる」を左右する要因を、従業員サーベイデータから読み解く ○眞木 麻美、笹内 健吾、奥山 あす絵、大串 拓也、永井 智
	② 学位研究発表 13:45～14:15 日本企業で働く元留学生外国人社員のキャリア形成の実態調査ー外国人留学生を対象とした大学のキャリア教育に求められる指針の探索的研究ー ○坂井 伸彰
	③ 研究発表 14:15～14:45 ダイバーシティ環境と心理的居場所感に関する探索的検討 ○中村 准子、菊入 みゆき

15:00～16:30 座長：原 恵子（埼玉学園大学）

現地対面 Zoom配信

R03	① 実践報告 15:00～15:30 児童福祉領域支援者を対象としたコンサルティングの実践 ○三木 馨、吉川 悟
	② 研究発表 15:30～16:00 パーソンセンタード・アプローチによるキャリアコンサルタント教育システムの開発～ロールプレイングを援用したクライアント役教育モデルの試案の提示～ ○相澤 秀一
	③ 研究発表 16:00～16:30 キャリア支援における指導者層に関する検討ースーパービジョンに関する実態や支援者としての意識ー ○原 恵子、岡田 昌毅

15:00～16:30 座長：坂爪 洋美（法政大学）

現地対面 Zoom配信

R04	① 研究発表 15:00～15:30 キャリアコンサルタントにおけるイラショナル・ビリーフに関する考察 ○星野 宏
	② 研究発表 15:30～16:00 クライアントによる客観評価とカウンセラーによる主観評価の関連 EAP サービスにおけるセッション評価を通じて ○佐藤 史織、三浦 麻友子、藤田 康男、古田 克利
	③ 研究発表 16:00～16:30 キャリア・コーディネーターによる面談の意義と効果-CO ならびに上司への効果- ○坂爪 洋美、○小室 銘子

16:45～18:15 座長：永野 惣一（淑徳大学）

現地対面 Zoom配信

R05	① 研究発表 16:45～17:15 企業内キャリアコンサルティングにおいてキャリア専門職と上司に効果の違いはあるか-面談実施者のキャリア自律度に関する比較分析から- ○飛田 泰秀
	② 研究発表 17:15～17:45 キャリアコンサルティングの継続利用がキャリア自律に及ぼす効果の検証 ○倉持 裕太
	③ 研究発表 17:45～18:15 異動後のキャリア・アダプタビリティの変化に関する研究 3 時点の縦断調査に基づく潜在成長曲線モデルによる分析 ○塩川 太嘉朗、保田 江美、伊勢坊 綾、中原 淳

16:45～18:15 座長：五十嵐 敦（福島大学）

現地対面 Zoom配信

R06	① 研究発表 16:45～17:15 新型コロナウイルス感染症の流行後期における短期解決志向型カウンセリングの効果と今後の課題について ○西村 有美香、麻生 倫世、酒井 真依子
	② 研究発表 17:15～17:45 産業カウンセリングでシングルセッションセラピーを実践する 継続性が想定できない面接構造における短期療法 ○星 悠斗、白浜 恵
	③ 研究発表 17:45～18:15 働く人々のキャリア形成と健康生活について～職場状況・日常生活・医療機関の利用状況から～ ○五十嵐 敦

11月23日（日）

10:00～11:30 座長：太田 彩子（筑波大学）

現地対面 Zoom配信

R07	① 研究発表 10:00～10:30 孤独感情のひと月の変化は 3 か月後の離職意思の兆候となるか?— 職場における孤立・孤独化過程の検討 (28) — ○松尾 藍、中村 准子、桃谷 裕子、尾野 裕美、松井 豊
	② 研究発表 10:30～11:00 キャリア形成志向は仕事のやりがいを高めるか?—「適応重視型」と「計画重視型」に着目して— ○久保 敦史、○小森 雪菜
	③ 研究発表 11:00～11:30 管理職としての役割に対するリフレクションの先行要因 計量テキスト分析を用いた女性の課長および部長における特徴の検討 ○太田 彩子、尾野 裕美

10:00～11:30 座長：栗山 敏（ビジネス・ブレークスルー大学大学院）

現地対面 Zoom配信

R08	① 学位研究発表 10:00～10:30 農村体験プログラム参加から好転した事例の考察～学生相談から見える若者支援の取り組みについて～ ○猿渡 英代子
	② 実践報告 10:30～11:00 “どんな職に就きたいかわからない”という学生を支援する TMCAQ(タイムマシン キャリアアンカー クエスチョン)の可能性 ○勝木 信二
	③ 実践報告 11:00～11:30 大学のゼミ指導の有効性を向上させる要因に関する事例研究 ○栗山 敏

12:15～13:45 座長：尾野 裕美（筑波大学）

現地対面 Zoom配信

R09	① 研究発表 12:15～12:45 神経発達症児の養育体験をする父親 子どもとの適応過程 ○練田 修司
	② 研究発表 12:45～13:15 未就学児をもつ労働者におけるワーク・ファミリー・エンリッチメント—実態と職場のサポートに関する探索的検討— ○別府 麻美
	③ 研究発表 13:15～13:45 育児休業を取得した男性の職場における同僚の労働生産性および Well-being が促進されるプロセスに関する探索的検討 ○尾野 裕美

12:15～13:45 座長：前田 具美（キャリアコンサルティング協議会）

現地対面 Zoom配信

R10	① 実践報告 12:15～12:45 支援者キャリアの「越境的自己設計実践」制度外で専門性を活かすパラレルキャリアの試み ○南 紀明
	② 研究発表 12:45～13:15 企業法務に携わる弁護士の経験学習 弁護士としての技能の獲得に着目して ○高松 志直、田中 聡
	③ 研究発表 13:15～13:45 アイドルのセカンドキャリア支援における実践の工夫と課題-キャリア支援企業スタッフのインタビュー調査より- ○志田 望、濱村 純平、田中 智之

14:00～15:30 座長：浅野 浩美（事業創造大学院大学）

現地対面 Zoom配信

R11	① 実践報告 14:00～14:30 生殖医療従事者の Well-being を考える～QOML(Quality of Medical Staff's Life)の重要性～ ○荒木 依理、池崎 明未、太 麻衣、市山 卓彦
	② 研究発表 14:30～15:00 早期退職後に独立起業した中高年のキャリア危機と困難克服プロセス--「予期せぬ出来事」発生から「再起」までの分析-- ○佐藤 美礼
	③ 研究発表 15:00～15:30 シニア期における労働価値観についての一考察 60代後半就業者、60代後半非就業者を対象に行った Web 調査結果から ○浅野 浩美

14:00～15:00 座長：高山 美穂（オリンパス株式会社）

現地対面 Zoom配信

R12	① 実践報告 14:00～14:30 女性企業人向けのメンタリング事業(withbatons)の実践報告 ○森 俊彰、小林 今日子
	② 研究発表 14:30～15:00 子どもがいない女性の「語られない職場経験」女性活躍とハラスメント対策に着目して ○木ノ内 直子

R13	① 研究発表 15:45～16:15 日本語教師が国家資格キャリアコンサルタントを取得した動機と支援実践の変容 ○横田 泰枝、○國井 久美子
	② 実践報告 16:15～16:45 ソーシャルVRを利用したメタバースにおけるキャリア相談の取組み～認知向上と潜在ニーズのために～ ○中村 和憲、○大迫 淳子、鳴川 恵美子、齊藤 唯
	③ 研究発表 16:45～17:15 生成AIを活用したハプンスタンス学習駆動型キャリア教育の試み-自己理解ワークにおけるハプンスタンス創出とAIリテラシー育成- ○吉川 雅也

●11月22日(土) 11:00～12:30

現地対面 Zoom配信

S01	キャリア・ウェルビーイングの実現に向けた多領域からのアプローチ ～地域・行政・産業・リワークの視座～
------------	---

猿渡 英代子、増田 剛士、田村 三太、吉村 紘樹

本シンポジウムでは地域・行政・産業・リワーク、それぞれの実践者からキャリア・ウェルビーイングの実現に向けたアプローチについての紹介、報告、提案、考察等を行う。

『地域の共創でキャリア支援から well-being な社会を目指す』

合同会社ビーウィズ代表、一般社団法人イシノマキ・ファーム理事 猿渡 英代子

宮城県北上町でソーシャルファームの実践をしている、一般社団法人イシノマキ・ファームでは、若者の就労、障がいを抱えた人や企業プロボノの参画を通じて、働く人々のキャリアがどのように変容し、地域の支援インフラとして深化・拡張しているかを考察する。

『「分かち合いの場」が育むキャリア・ウェルビーイング』

世田谷保健所精神保健相談員 増田 剛士

地方自治体では職員の人材育成計画やキャリアラダーの整備が進められている一方で、普通退職者の増加や精神疾患による病休者の増加が続いている。特に、近年では20代、30代の普通退職者の割合が増加しており、その対策が急務である。本発表では、公務員の業務特性や中堅期職員特有の立場を踏まえ、制度的な支援にとどまらず、職員一人一人が日々の業務を振り返り、互いに支え合う風土づくりを促進する実践的な取り組みとして「分かち合いの場」を設けることについて提案する。

『新規小規模事業場における well-being を軸とした産業保健』

みんなのための株式会社取締役 CWO 田村 三太

2025年3月に新設した訪問看護ステーション「みんなのケアステーション練馬」では、従業員を含めた個人・組織・地域社会全体の well-being 向上を目指し、CWO (Chief Well-being Officer) を設置した。発表者がこの役職に就任し、産業保健部門を設立するとともに産業保健体制を整備中である。「The TOMH well-being 24 scale」を活用した 1on1MTG の実施等、従業員のキャリア・ウェルビーイングの実現に向けた取り組みを発表する。

『リワークでの自己内省やピアから考えるキャリア・ウェルビーイング』

株式会社 Rodina 事業推進本部本部長 吉村 紘樹

全国でリワーク支援事業を実施する株式会社 Rodina では、リワークを Restart to work (再スタート・再設計) と考え復職に向けた支援だけでなく、キャリアや働き方・生き方を共に考えるリスタートプログラムを提供している。その中で自己内省やご利用者様のピアの関係の中で転換していくキャリアに対する考えを考察する。

●11月22日(土) 11:00~12:30

現地対面 Zoom配信

S02	協力企業も支える人も本人もー“三方よし”のキャリアコンインターンシップ物語
-----	---------------------------------------

小倉 浩靖、田村 輝美、竹内 雅彦、仁平 幸子、堀口 恵子、城戸 貴子、富永 誠、中林 千恵子、山本 達夫

国家資格キャリアコンサルタントの登録者は8万人を超えていますが、その約3割は、実際のキャリアコンサルティング活動を行っていないと言われています。また、会員からはキャリアコンサルタントとしての実践機会を求める声が多く寄せられています。

一般財団法人 ACCN では、こうした状況を踏まえ、実践の場における「学び合い」を重視し、「支部活動」や「テーブル活動」など、個々の状況に応じた多様な学習・活動機会を会員の方のご協力のもと創出してまいりました。

その一環として、経験の浅い会員キャリアコンサルタントが、現場の感覚や実践的な知識を習得できるよう、第一線で活躍するベテランキャリアコンサルタントの指導の下、支援現場や研修を体験する「実践型訓練 (ACCN インターンシップ)」を3年前から実施しております。この取り組みは既に10回を超えておりますが、その中でキャリアコンサルタントの成長を支えるモデルとしての可能性や課題が見えてまいりました。

つきましては、これまでの取り組みを振り返りながら、得られた知見や事例を整理し、今後の展開や方向性について、インターンシップ参加者および協力者等の現場からの声も踏まえてご報告させていただく機会としたいと考えております。

●企画・進行 (五十音順)

- ・小倉 浩靖 (おぐら・ひろやす)

一般財団法人 ACCN 実践型教育訓練委員会、PLAYWORK LAB, Inc.

2級キャリアコンサルティング技能士、eMC

- ・中林 千恵子 (なかばやし・ちえこ)

一般財団法人 ACCN 事務局・国家資格キャリアコンサルタント

- ・山本 達夫 (やまもと・たつお)

一般財団法人 ACCN 事務局・国家資格キャリアコンサルタント

●シンポジスト (五十音順)

【受入企業】

- ・田村 輝美 (たむら・てるみ)

株式会社ユニテッドアローズ

2級キャリアコンサルティング技能士、JREA®認定 レジリエンストレーナー

【ファシリテーター】

- ・竹内 雅彦 (たけうち・まさひこ)

旭化成株式会社

1級キャリアコンサルティング技能士

- ・仁平 幸子 (にへい・さちこ)

オリーブキャリア

1級キャリアコンサルティング技能士・CCA 認定スーパーバイザー

- ・堀口 恵子 (ほりぐち・けいこ)

リカレントキャリアデザインスクール学校長

【インターンシップ生】

- ・城戸 貴子 (きど・あつこ)

国家資格キャリアコンサルタント

- ・富永 誠 (とみなが・まこと)

キャリアコンサルタントグループ NOBLE

国家資格キャリアコンサルタント

●11月22日(土) 11:00~12:30

現地対面 Zoom配信

S03	実践例から考える社会正義に貢献するキャリア支援と研究
-----	----------------------------

道谷 里英、正木 澄江、高沼 理恵、野々垣 みどり

近年の欧米のキャリア・ガイダンス（カウンセリング）においては、社会正義の視点に立ったアプローチが強調され、働くことに影響する社会的・構造的側面が見過ごされてきたと指摘されている。例えば、ワーキング心理学(Psychology of Working)を提唱した Blustein 博士は、多くの労働者や仕事を求める人々が、ディーセント・ワークへのアクセスや基本的なニーズを満たすことのできる仕事に従事する可能性を持っていないと述べている。日本においても雇用者のうち約4割が非正規雇用であり、従来のキャリア発達理論では支援することが困難な人々が数多く存在する。しかし、どのような活動が社会正義に貢献する支援や研究なのだろうか。現状では社会正義のキャリア支援に関わる研究や支援の実践例を知る機会は限られる。そこで、本自主シンポジウムでは社会正義のキャリア支援を理解し実践する上で鍵となる概念を概観するとともに、支援や研究の事例を共有し、日本における社会正義のキャリア支援の発展に資するコミュニティづくりに向けた提言を行う。

●企画者・パネリスト

道谷 里英 順天堂大学国際教養学部 先任准教授
社会正義のキャリア支援の根底にある理念とアプローチの例

●パネリスト

正木 澄江 文教大学 人間科学部心理学科 准教授
「格差」と「違和感」からはじまる社会正義の支援と研究

高沼 理恵 金沢大学 融合研究域融合科学系 助教
システム思考で考える、社会正義のキャリア支援の介入ポイント
～外国人留学生へのキャリア支援を例に

野々垣 みどり 株式会社エマージェンス 代表取締役
学びのコミュニティが拓く、社会正義のキャリア支援

- ・冒頭で企画の趣旨を紹介したのち、各パネリストより話題提供を行う（各15分）
- ・パネリスト相互の意見交換およびフロアからの質疑を受け付ける（25分）

●11月22日(土) 11:00～12:30

現地対面 Zoom配信

S04	経験代謝を活用したキャリアカウンセリングの実践 ～「問題解決」と「個性の発揮」～
-----	--

松本 桂樹、野条 美貴、埴岡 知子、下田 英樹

経験代謝は、日本キャリア開発協会(JCDA)が提唱するキャリアカウンセリングの理論です。目的を「問題解決」ではなく「自己概念の成長」と捉え、相談者が語る経験の物語に耳を傾け、その物語に映し出された意味や相談者の「ありたい自分」を明らかにしていきます。経験代謝は JCDA 会員以外のキャリアコンサルタントにとって、馴染みの薄い理論といえます。本シンポジウムでは経験代謝が各現場でどのように活用されているのか紹介し、参加者から活発な質問を頂くことで、その意義を理解するメタ言語を練りたいと思っています。

●企画者・進行：松本 桂樹（株式会社ジャパンEAPシステムズ）

大学院修了後、精神科クリニックに入職。心理職として勤務する傍ら、ジャパンEAPシステムズ起ち上げの特命を受け、数年かけ事業を軌道に乗せた。以降、25年以上にわたり、働く人の様々な相談に対応している。臨床心理士、1級キャリアコンサルティング技能士、神奈川大学客員教授。

●シンポジスト：野条 美貴（東京工科大学）

1級キャリアコンサルティング技能士、公認心理師。大学卒業後、ALSOK株式会社にて人事採用業務に従事。その後、ハローワークや雇用・能力開発機構では求職者支援、メンタルクリニック等では退職者や在職者へのキャリア支援を行う。現在は主に大学において、キャリア教育科目の授業や学生のキャリア相談業務に携わっている。

●シンポジスト：埴岡 知子（住友林業ホームエンジニアリング株式会社）

「埴岡さんだから入社を決めた、相談できた」と言われる関係性を大切に、2010年より住友林業グループで採用・研修・キャリア面談を担当。人事制度やメンタルヘルス支援にも携わり、個人と組織双方の win-win を追求。就活支援を含む豊富な実務経験から、一人ひとりに寄り添った対話を実践している。

●シンポジスト：下田 英樹（損害保険ジャパン株式会社）

2級キャリアコンサルティング技能士、キャリアコンサルタント、CDA。福岡県出身、早稲田大学理工学部卒業後、安田火災海上に入社し、根っからの人好きで営業畑を32年。管理職となり、メンバーの人生に関わる重みを痛感しCDAを取得。資格を活かした1on1を実施するなど、誰も取り残さない組織づくりを実践してきた。

●11月22日(土) 13:15~14:45

現地対面 Zoom配信

S05	キャリアとメンタルの統合支援：医療とのより良い連携を目指して
-----	--------------------------------

新免 玲、杉山 崇、江花 昭一、山蔦 圭輔

組織における心理的支援とキャリア形成支援について、現在、第一線でご活躍中の3名の先生方より話題提供をしていただきます。

話題提供の一人目には、神奈川大学教授、心理相談センター所長を歴任されている本学前副会長の杉山崇先生。二人目には、神奈川大学客員教授、南浦和つながりクリニック院長の江花先生。三人目には、神奈川大学教授、南浦和つながりクリニック理事長の山蔦圭輔先生をお迎えします。その後、学会にご参加の皆さまと医療とのよりよい連携を目指したキャリアとメンタルの統合支援について議論したいと思います。

<話題提供者とテーマ>

杉山先生：「人間の病、実存の病としてのうつ病：キャリア神経科学への試みと支援の実際問題」

江花先生：「キャリア形成への心療内科医療からの支援～BPSE（生物-心理-社会-実存）モデルから見て～」

山蔦先生：「組織における心理的支援の面白味、難しさ、そして課題」

<登壇者>

企画・司会：新免玲

話題提供1：杉山崇

話題提供2：江花昭一

話題提供3：山蔦圭輔

討 論：フロアーの先生方

● 11月22日(土) 15:00～16:30

現地対面 Zoom配信

S06	育児と仕事の両立に悩む男性社員をどう支えるか ー キャリア支援者・職場・当事者と共に考えるディスカッション ー
------------	---

福嶋 正博、野条 美貴、加藤 昌広、高橋 浩、坂東 愛子

男性育休の取得が広がる中で、育児と仕事の両立に悩む男性社員を取り巻く環境には、職場の理解不足、キャリア停滞の不安、制度と実態のギャップといった課題が山積しています。本シンポジウムでは、育児中の男性社員、彼らを支える上司や人事担当者、キャリア支援者、研究者が集い、当事者の体験、企業内での制度運用の実態、支援者の専門的知見をもとに、現場の声を交えながら、育児と仕事の両立支援の現状と課題、キャリアコンサルティングの可能性について参加者の皆さんとディスカッションしていきたいと考えています。

登壇者・所属・プロフィール

- 福嶋 正博(株式会社グレイスコーポレーション)
法人営業職で育休を取得しキャリア観を転換。現在はパラレルワークを実践中。
- 野条 美貴(東京工科大学)
当学会監事・1級キャリアコンサルティング技能士・公認心理師、(一社)育児キャリアアップ推進機構 キャリアコンサルタント更新講習の講師
- 加藤 昌広(WCPA 専務理事/元労働新聞社代表取締役/キャリア支援者)
当学会会員、全国2万社の企業訪問を通じ、労務・人事制度と実態の両面に精通。
- 高橋 浩(ユースキャリア研究所代表)
当学会副会長、博士(心理学)、公認心理師、国家資格キャリアコンサルタント、法政大学大学院キャリアデザイン研究科 講師他
- 司会進行:坂東 愛子
当学会会員、国家資格キャリアコンサルタント
一般社団法人育児キャリアアップ推進機構 代表理事。WCPA(育児キャリアアップ推進機構)は、育児と仕事の両立に課題を抱える保護者や企業に向けて、キャリア支援・研修・制度づくりなどを多方面からサポートする団体で、国家資格キャリアコンサルタントの更新講習も実施。グループ法人ではNPO法人や保育園、地域メディアを運営し、自治体・企業と連携した育児支援・女性活躍・男性育休推進にも取り組んでいる。

●11月22日(土) 15:00~16:30

現地対面 Zoom配信

S07	AI とコラボレーションするキャリア構成面接
-----	------------------------

水野 修次郎、水野 崇、田島 陽子、川原 美奈、吉田 美加、鈴 りちえ

企画・登壇者： 一般社団法人ライフデザインカウンセリング研究所
 水野 修次郎(同研究所 代表理事/所長)
 水野 崇(同研究所 副理事/副所長)
 田島陽子、川原美奈、吉田美加(以上、同研究所 研究員)

司 会 進 行： 鈴 りちえ(同研究所 研究員/理事)

[発表内容]

- 1) キャリア構成面接(Career Construction Interview,CCI)に特化した生成 AI の開発
- 2) 人間のカウンセラーと AI の協力によって人間性を深める可能性
- 3) 今後の展望・質疑応答

[Key Words]

Counselor-AI Collaboration, Career Construction Interview (CCI), Life Portrait, Narrative Approach, Generative AI, Large Language Model (LLM)

[企画趣旨]

CCI のライフポートレートは、クライアントの物語を強調しつつ、重要な表現を尊重する一貫したストーリーとして書くという目的があります。近年、医療をはじめ各産業で活用されている言語生成 AI は、長文であっても単語間の関連性を数値化して捉えることができ、クライアントの語りからライフポートレートの中核に据えるべき最も重要なテーマや価値観を抽出することが期待できます。

今回の発表は、CCI の訓練を受けた専門家と、膨大な言語知識を学習している AI とのコラボレーションの可能性について報告します。この取り組みにおける AI は、人間のカウンセラーに取って代わるものではなく、協働することによって、クライアントにメタ認知をもたらし、カウンセリングの効果を高める可能性を提示するものです。加えて、現在の生成 AI の技術的課題のひとつである情報の誤り(hallucination)について、カウンセラーの対応にも触れる予定です。

最後に、今後の展望・質疑応答として、2025 年 6 月に米国キャリア開発協会(NCDA)での報告を振り返るとともに、カウンセリングにおいて生成 AI と協働することや、今後の研究の方向性に関して、参加者とともに議論を深めたいと考えています。

●11月22日(土) 16:45~18:15

現地対面 Zoom配信

S08	ジョブ・クラフティング概念を取り入れた、役立つ企業内キャリア支援
-----	----------------------------------

渡部 昌平、鈴木 有貴江、金田 知博、吉川 雅也、新目 真紀

渡部昌平(秋田県立大学)

「従業員個人の努力に任せない仕組みづくりの必要性」

鈴木有貴江(アタックスグループ 人財開発室)

「ジョブ・クラフティング概念を取り入れた実務に役立つキャリア研修の開発」

金田知博(一般社団法人 キャリア開発支援協会)

「職場のジョブ・クラフティング活動を通じた従業員の定着支援の効果」

吉川雅也(関西外国語大学)

「従業員の行動と変化を支援するために」

新目真紀(職業能力開発総合大学校)

「ジョブ・クラフティング概念に基づく中小企業のキャリア支援の課題」

日本人は組織に対して協調的であり、リスクを避ける慎重な傾向があるため、仕事上の失敗も少ないにも関わらず、世界的に見て従業員エンゲージメントが低いことで知られている。日本でキャリア自律を標榜する企業の人事・総務担当者は、従業員が主体的に仕事に対する認識や行動の機会を増やし、やりがいやモチベーションを持てるような「ジョブ・クラフティング」を個人視点だけでなく組織視点でも取り入れるのが有効ではないだろうか。会社や上司の指示・命令ではなく、働く人自身の意思で仕事を再定義し、自分らしさや新しい視点を取り込んでいくことで、モチベーションを高め、パフォーマンスの向上につなげるという考え方が必要なのではないだろうか。企業が「この仕事だけしてくれればいい」、従業員が「この仕事だけしておけばいい」と考えることは、お互いにとって不利益となることもあるのではないだろうか。

本自主シンポジウムでは、研究者と企業担当者双方の視点から企業にも従業員にもメリットのある企業内キャリア支援を、ジョブ・クラフティングの概念から議論してみたい。また参加者からも情報・意見提供を求めたい。

●11月23日(日) 10:00~11:30

現地対面 Zoom配信

S09	生成 AI 時代のリスキリング社会におけるキャリアコンサルタントの役割
-----	-------------------------------------

後藤 宗明、津本 海、若林 杏樹、渋川 駿伍、杉山 崇、古今堂 靖

生成 AI の急速な発展により、人々の働き方が大きく変化すると予想されています。それに対して国や地方自治体ではリスキリングの推進に巨額の予算を投じており、経済産業省のリスキリングを通じたキャリアアップ支援事業ではリスキリングの希望者に対してキャリアコンサルタントとの面談が必須になっています。このような生成 AI 時代の到来といった大きな社会変化の中でキャリアコンサルタントの役割はどのようになるのでしょうか？

本シンポジウムにおいて、リスキリングに関しては、国や自治体または世界でどのような状況にあるのか？なぜ現在の社会状況の中で必要とされていて世界中でその重要性が叫ばれているのか？また、生成 AI に関しては、現在働く現場でどのように活用されているのか？今後どのように発展し私たちの生活を変え仕事に影響を与えようと考えられるのか？

このようなテーマに関してそれぞれの分野の専門家より最新の情報を提供して頂きます。そして、これらの現状を踏まえたうえで、今後のキャリアコンサルタントの役割や重要性に関しても、会場にお越しの皆様と一緒に考えてみたいと思います。

パネラー：

後藤宗明氏（一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ代表理事/経済産業省「スキル標準化調査委員会」委員）

※日本におけるリスキリング推進の第一人者。

津本海氏（株式会社スニファウト代表取締役 CEO/一般社団法人生成 AI 活用普及協会（GUGA）常任協議員）

※東京大学大学院卒の AI エキスパート。

若林杏樹（あんじゅ先生）氏（漫画家/キャリアコンサルタント）

※『お金のこと何もわからないままフリーランスになっちゃいましたが税金で損しない方法を教えてください!』は 30 万部突破のベストセラー、最新刊『今の働き方、ホントにそれでいいの?』は日本初のキャリコン漫画。

渋川駿伍氏（株式会社 Kakedas 代表取締役会長/日本ポップコーン協会会長）

※弱冠 19 歳で株式会社 Kakedas を創業し、日本最大級のキャリコンプラットフォームに育て上げる。

杉山崇氏（神奈川大学人間科学部教授、心理学者、臨床心理士、1 級キャリアコンサルティング技能士）

※心理とキャリアの二刀流として『いつまでも消えない怒りがなくなる 許す練習』など著書多数、またメディアにも精力的に出演中。

モデレーター：

古今堂靖（一般社団法人日本リスキリングキャリアコンサルタント協議会理事長）

※キャリア業界歴 22 年

●11月23日(日) 12:15~13:45

現地対面 Zoom配信

S10	キャリアの民俗学 “名もなき社会の要たち” Part 3 : PAC分析に基づく「準備」の検討 ～人生100年時代に向けて～
------------	---

田中 雅美、新免 玲、奥田 道生、長野 晋、杉山 崇

カウンセリングは人知れず汗と涙を流している方々を主役にする試みです。私たちは社会の多くのスポットライトの当たりにくい人々、「名もなき社会の要たち」の喜び、悲しみ、そして怒りの実態をPAC分析で明らかにする研究への試みを重ねてきました。この試みを「キャリアの民俗学」と呼んでいます。今回は人生後半に突然「人生100年時代」に巻き込まれたミドルシニアの実態に焦点を当てます。人生100年時代を彼らはどう捉え、どのように生きようとしているのでしょうか。理論の枠組みとして今回もN.ニコルソンのキャリア・トランジションのうち「準備」段階を中心に据えます。

まずアンケートを実施し「人生100年時代は良いことだと思うか」をNRS(0-100)で広く把握し、年齢層(45-59歳/60-69歳)及びキャリアコンサルタントの資格の有無から分布の傾向を「人生100年時代」の捉え方の傾向を分析、ついでアンケート回答者の中から、「肯定的・否定的」×「キャリアコンサルタントの資格の有無」で被験者を抽出しPAC分析を行います。ミドルシニアの「人生100年時代」への向き合い方について、PAC分析結果をもとにキャリア支援の理論と脳心理学の視点から検討、議論します。

シンポジスト氏名・所属

企画者・司会者：田中雅美(心理学マネジメント研究所主任研究員)

当学会社員、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー

シンポジスト：新免玲(日本女子体育大学)

Earth Career Lab.代表、日本女子体育大学 特任准教授、横浜市立大学 特任講師、2級キャリアコンサルタント

ティンギン技能士、公認心理師、当学会理事・国際交流委員長。

シンポジスト：奥田道生(神奈川大学プロジェクト研究員)

当学会会員、国家資格キャリアコンサルタント、臨床心理士

シンポジスト：長野晋(SMBコンサルティング株式会社)

当学会社員、国家資格キャリアコンサルタント

指定討論者：杉山崇(神奈川大学人間科学部教授)

神奈川大学人間科学部教授、1級キャリアコンサルティング技能士、臨床心理士、当学会前副会長

●11月23日(日) 14:00～15:30

現地対面 Zoom配信

S11	AI とカウンセリングが紡ぐ三者協働 対話から拓くキャリア支援 三位一体支援モデルと AI 雇用支援ツールの実践
-----	---

湯田 麻子、宇野 京子、佐藤 陽、松為 信雄、下村 英雄

(司 会) 湯田麻子¹⁾
(話題提供) 宇野京子¹⁾ 佐藤 陽²⁾
(指定討論) 松為信雄¹⁾³⁾ 下村英雄⁴⁾

- 1) 一社 職業リハビリテーション協会
- 2) 富士通研究所 データ&セキュリティ研究所
- 3) 神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学 名誉教授
- 4) 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 統括研究員

障害者雇用の現場においても、キャリアカウンセラーの専門性が重要視されてきている。精神疾患や発達障害など生きづらさを抱えた人たちのキャリア形成は、個人の努力だけでは成り立たず、企業の制度や組織内支援者の調整力、職業リハビリテーションの専門家の介入が複合的に作用する。松為信雄が提唱する「三位一体支援モデル」は、①当事者のキャリア意識、②企業の雇用の質、③支援者の専門性を統合する枠組みであり、カウンセラーはその結節点として、理論と実践に基づく評価や対話技法を通じた成長支援、さらには環境への働きかけを担う専門職と定義している。

2024 年頃から、国際的に職業リハビリテーション分野でも AI 研究が拡大しているが、その多くは情報検索や記録補助にとどまっている。本シンポジウムでは、AI 研究者の佐藤から EU の AI 規制法(2025)を尊重し、「NotebookLM」を採用し開発した雇用支援ツール「TSUMUGI-CHAN」を紹介する。開発には、AI 及び職業リハビリテーションの研究者、企業支援の実践者が協働し、キャリア理論や知見、対象企業データを内包することにより「協働的 AI 支援モデル」構築をしている。カウンセラーの宇野からは、岡山市内にある従業員 222 人の企業(サービス業)で「TSUMUGI-CHAN」を活用した実践から、当事者のキャリア意欲の向上、組織内支援者の役割の明確化、経営層の雇用戦略への活用が確認され、AI が単なる業務効率化の道具ではなく、対話を媒介し支援の質を高める効果が得られた事例を紹介する。

指定討論には、下村英雄と三位一体支援モデルを提唱した松為信雄を迎える。下村からはカウンセラーの立場、そして社会正義の視点から議論を深め、松為は三位一体支援の理論的深化を図りつつ現場実践との接合を探る機会にしたい。AI 時代におけるキャリアカウンセリングを通じて、誰もが Well-being を実現できる社会を築くための議論を深めていきたい。

●11月23日(日) 15:45～17:15

現地対面 Zoom配信

S12	治療と仕事の両立支援～キャリア支援を当事者・支援者とともに考える～
------------	--

藤井 将光、廣川 進、廣田 純子、矢野 雷太、近藤 菜津紀、田村 三太

本シンポジウムでは、「治療と仕事の両立支援」をテーマに当事者・支援者の立場から課題と対策についての論点を取り扱う。(疾患分野：がん、難病、メンタルヘルス不調など)

【登壇者】

企画者・司会 : 藤井 将光 (株式会社トリートエンドワークス 代表取締役)
 指定討論者 : 廣川 進 (法政大学 キャリアデザイン学部 教授)
 シンポジスト : 廣田 純子 (Office Citrus 代表／一般社団法人がんと働く応援団 理事)
 矢野 雷太 (国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 消化器外科医長)
 近藤 菜津紀 (NPO 法人両育わーど／獣医師イラストレーター／RD ワーカー)
 田村 三太 (一般社団法人 MHC リサーチ&コンサルティング 代表理事)

【背景】

近年、がんをはじめとする長期療養を要する疾患は増加傾向にあるが、医療の進歩や国の施策推進により、治療を継続しながら就労を続けることが可能なケースも少しずつ広がっている。しかし、職場の理解や制度整備が十分でない場合、両立は困難となり、離職やキャリア中断を余儀なくされる事例も少なくない。また、中小企業のみならず大企業においても、両立支援の制度や知識が十分に浸透していない現状が報告されており、キャリア支援の観点からの取り組みが求められる状況にある。

【目的】

両立支援の知見を深める機会となるとともに、当事者の声や多様な立場の支援者の事例を統合的に理解する場となることを目指す。治療と仕事の両立を支えるキャリア支援の在り方を多角的に検討し、参加者自身の職場ではどうすべきか、キャリア支援者として何ができるかを自ら考える契機としたい。

【期待される効果・意義】

病気に罹患した労働者にどのような課題があり、どうキャリア支援をしていくべきかを理解できる。疾患分野に限らず、病気になった労働者の共通点を見出し、共通のキャリア支援を探ることができる。社内・外でどのような資源・支援アプローチがあるのか、活用の可能性を理解できる。当事者・支援者視点での両立支援を理解し、職場に活かすことができる。

第30回記念大会 後援団体機関 ご芳名

厚生労働省

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

独立行政法人労働者健康安全機構

独立行政法人労働政策研究・研修機構

公益財団法人関西生産性本部

公益社団法人全国労働基準関係団体連合会

公益社団法人日本公認心理師協会

公益財団法人日本生産性本部

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会

一般社団法人公認心理師の会

一般社団法人日本カウンセリング学会

一般社団法人日本経済団体連合会

一般社団法人日本産業カウンセラー協会

一般社団法人日本心理臨床学会

一般社団法人日本臨床心理士会

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

中央職業能力開発協会

中央労働災害防止協会

日本学生相談学会

日本キャリア教育学会

日本産業ストレス学会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。
ここに芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2025年11月吉日
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第30回記念大会委員長 高橋 浩
馬場洋介

第30回記念大会 協賛団体 ご芳名

一般社団法人 HR アセスメント協会
一般社団法人オトナ思春期をデザインするプロジェクト
一般社団法人がんと働く応援団
一般財団法人 ACCN
一般財団法人コミュニケーション開発機構
NPO 法人 ICDS
特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
特定非営利活動法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会
特定非営利活動法人ライフキャリア総合研究所
株式会社アイカル
株式会社あしあとみらい研究所
株式会社オフィス渡喜
株式会社キャリア・ストラテジー
株式会社キャリアコンハート
有限会社 C マインド
株式会社実務教育出版
株式会社 Smart 相談室
株式会社東京リーガルマインド
株式会社日本マンパワー
株式会社白桃書房
ラッセル ウェルビーイング コーチング カレッジ

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。
ここにご芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2025年11月吉日
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第30回記念大会委員長 高橋 浩
馬場洋介

第30回記念大会 寄付協賛団体 ご芳名

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

本大会を開催するにあたりまして、上記の団体様より多大なご支援を受け賜りました。

ここにご芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

2025年11月吉日
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第30回記念大会委員長 高橋 浩
馬場洋介

第30回記念大会 出展団体 ご芳名

株式会社金剛出版

JPP 株式会社

株式会社駿河台出版社

株式会社誠信書房

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

本大会を開催するにあたりまして、上記の諸団体様より多大なご支援を受け賜りました。

ここにご芳名を記し、厚く御礼を申し上げます。

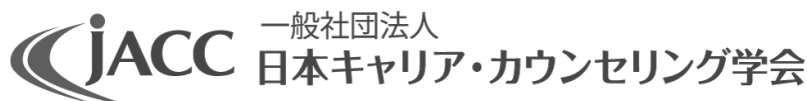
2025年11月吉日
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第30回記念大会委員長 高橋 浩
馬場洋介

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会 第30回記念大会

2025年 10月 25日 初版

大会委員長：高橋 浩（ユースキャリア研究所）
大会委員長：馬場 洋介（帝京平成大学大学院）
大会副委員長：小倉 浩靖（PLAYWORK LAB, Inc.）
大会副委員長：吉川 雅也（関西外国語大学）
大会事務局長：廣田 純子（Office Citrus）
大会技術担当：大野 亮一郎（清泉女子大学）
大会会場担当：安藤 沙織（新宿しろくまカウンセリング）
大会会場担当：原 哲也（原哲也事務所）
大会パートナー：竹中 裕晃（TAKE3）

大会実行委員（50音順）：赤城 知里（川口短期大学）／磯貝 和子（株式会社SEMILLA）／加賀谷 晴美（JCC 日本キャリア・カウンセリング研究会）／門脇 尊子（全日本空輸株式会社）／亀田 修司（株式会社インソースコンサルティング）／坂井 真奈美（ブルデンシャル生命保険株式会社）／桜井 伸子（マインドテラス）／佐藤 真喜子（トレイン・ジャパン株式会社）／高崎 隆浩（就労サポートたちかわ）／長久保 逸郎（NPO 法人ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント）／中野 愛子（&Aco.）／中村 准子（筑波大学働く人への心理支援開発研究センター）／埴岡 知子（住友林業ホームエンジニアリング株式会社）／原 恵子（埼玉学園大学）／坂東 功規（人生旅行研究所）／藤井 将光（株式会社トリートエンドワークス）／藤田 るり子（株式会社富士通ラーニングメディア）／宮本 由美子（株式会社ビット）／村木 理乃（共立女子大学・共立女子短期大学）／山本 和美（山梨大学）／吉田 聡（三井住友トラスト・キャリアパートナーズ株式会社）／吉田 英和（株式会社電通）



大会特設サイト <https://jacc-conf.info/30th/>
大会チケット予約 <https://jacc.conf.it.atlas.jp/login>
本大会のお問合わせ e-mail: conference-30th@jacc.or.jp
大会以外のお問合わせ

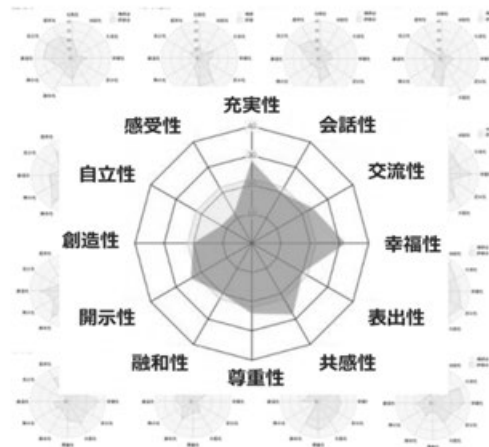
一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会（旧・日本産業カウンセリング学会）
〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 りそな九段ビル 5 階 KS フロア
e-mail: info@jacc.or.jp HP: <https://jacc.or.jp/>

組織開発・キャリア支援に活用する方が急増！

HRパーソナルスタイル

一人の“ちがいを”数値化する進化型アセスメント

- 考え方・感じ方・関わり方を12の指標で見える化
- 性格や能力ではなく、「発想パターン」をデータ化
- 人間関係の見える“ズレ”を構造的に理解できる！
- 信頼性と再現性を備えた診断ツール



【12月開催！体験イベントのご案内】

日時：12/7（土）、12/14（土） 両日とも10:00～11:30

開催：オンライン（Zoom） 参加費：1,000円

内容：診断体験（通常4,400円）、活用事例の紹介



一般社団法人HRアセスメント協会

<https://hr-assessment.or.jp/>



一般社団法人

がんと働く応援団

がんと働く応援団の両立支援者養成プログラムで、

がん治療と仕事の両立相談にのれるようになろう！



がんから始める
◆両立支援セミナー

基本のがん知識講習に、少人数での代表ロープレまたは事例検討ワークがついて、両立支援が「わかる」の一步をサポート！

がんから始める
◆両立支援講習会

充実の事前e-Learning学習と、1級キャリアコンサルティング技能士のロープレ指導で、両立支援「できる」の一步を強力サポート！

がん治療と仕事相談で
◆対話力を磨くシリーズ
事例検討ワーク
相互ロープレ
◆事例検討会
◆スーパービジョン

見立て、ロープレ、構造理解。知識と理解を携えて、実際場面の対話力を磨く実践力強化シリーズできました！ 実際場面に備えましょう。1級キャリアコンサルティング技能士による事例検討会、スーパービジョンも。両立支援者の研鑽の場でああなたの「のぼす」を継続サポート！

◆医師から聴いて考える
シリーズ
◆Facebookグループ

対話を通して両立支援者として安心安全に考えやつながりををを広げる場、実践につなげる場があります。お待ちしております！



がん防災マニュアル
PDFプレゼント



登録して
メールで
情報受取！

支援力にウェルビーイングの 新たな可能性を



理論を学んでも、現場では想定外のケースが次々と訪れる。
クライアントの気づきや変容が起こらない、どう働きかければいいのか…そんな悩みや迷い、ありませんか？

ウェルビーイングメンタル講師プログラム で全て解決できます！

ウェルビーイング の視点

面談の質が更に高まり、相談者の課題解決だけでなく、人と組織の未来を拓くキャリア支援へとつながります。支援するあなた自身の自己効力感が向上します。

現場ですぐ使える 実践スキル

実際のセッションですぐ使えるメンタルトレーニングのスキルを習得。
どんなクライアント・ケースにも対応できる引き出しが増えます。

活動の幅が広がる 収入の柱が増える

個別セッションに加え、講座開催・講師活動へとステップアップ可能。
収入の柱を増やししながら、キャリア支援の場を拡大できます。



あなたがウェルビーイングを実感することで、
クライアントにも変化の芽が生まれます。
やがてそれは、職場や組織、社会へと広がっていく。
そんな好循環をあなたも始めてみませんか？

どんなプログラムなの？

無料ウェビナー開催中！

キャリアコンサルティングは「自分らしさ」を見つけ、人生をデザインする力を育む、ウェルビーイングに直結した仕事。このプログラムで、面談やセッションでさらに成果を引き出す実践スキルを身につけ、キャリア支援とウェルビーイングを両立・加速させていきませんか？



キャリアの専門家集団がつくる企業向けキャリア支援サービス

CCAの法人向けサービス導入をご検討ください

企業内キャリア支援者のトレーニング

社内に“頼れるキャリア支援者”を育成し、社員の安心感と組織力を高めます

- ・ スーパービジョン（グループ／個人）
- ・ グループケース検討
- ・ 独自評価基準書を活用した、『課題発見プログラム』

キャリア面談の外部受託

「質の高い面談」と「担当者の業務負担軽減」を両立します

- ・ 研修後のフォロー面談、セルフ・キャリアドック
- ・ 常設キャリア相談室での外部機関として
- 自動予約システムで人事部門の負担を軽減

貴社オリジナルのキャリア研修

貴社の課題・ご要望を充分伺いオーダーメイド研修をご提供

- ・ 年代別・階層別に最適化した研修を、数時間から数日まで柔軟に設計
- ・ 講師は企業経験豊富なキャリア専門家を人選します

キャリア施策浸透支援

社員全体に“キャリア自律の文化”を浸透させます

- ・ 管理職向けガイダンス動画
- ・ 全従業員向けキャリア啓発動画
- ・ キャリア面談開始PR動画、など

CCAの法人サービスは、長年のキャリアカウンセラー／キャリアコンサルタント養成で培ったノウハウを活かし、企業のフェーズに合わせた完全カスタマイズ型キャリア支援をお届けします。
「これから導入する企業」も、「すでに実践を進める企業」も、最適な支援策で伴走します。

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会(略称：CCA)

東京都港区新橋1-16-4 りそな新橋ビル4階 TEL. 03-3591-3569

info@career-npo.org



人をつなぎ、キャリアをつなぐ

～SOCCが大切にしていること～

1. キャリアコンサルタントとしての資質(力量)向上機会の提供

- ・少人数傾聴トレーニング(面談スキル研修)
- ・ピアトレーニング(ロールプレイ練習)
- ・1級技能士による個別スーパービジョン
- ・1級&2級技能士によるカウンセリング機会

2. キャリアコンサルタントとしての実践機会の創出と提供

- ・企業でのキャリアコンサルティング業務
- ・就労支援施設でのキャリアコンサルタント常駐業務
- ・専門学校、高校でのキャリア教育、キャリアコンサルティング業務

3. 会員同士のネットワーク作りのご支援

- ・無料オンラインセミナーを毎月開催(各領域の専門家、研究者、実務者等が講師として登壇)
- ・会員同士のオンライン対話会(自由参加)を毎月開催

★**会員募集中!** (入会費0円、正会員年会費10,000円、賛助会員年会費3,000円)

特定非営利活動法人

ソサエティ・オブ・キャリアコンサルタント

URL: <https://nposocc.com/>



自分の「キャリア＝生き方」を考える時間はどのくらいあるでしょうか？

私たち NPO 法人ライフキャリア総合研究所は、

「生きる力を支援する」をテーマにキャリアコンサルタントとして、

クライアントと向き合うために研鑽を積むための仲間づくり、学びの場を提供しています。

一人でも多くの方が、自分の「キャリア＝生き方」を整理し、

生きる力（エンパワーメント）を育み、「自分らしさ」を大切にしながら、

ライフキャリアを描き生きられるように支援しています。



研究員募集中



NPO法人

ライフキャリア総合研究所

「生きる力」を支援する

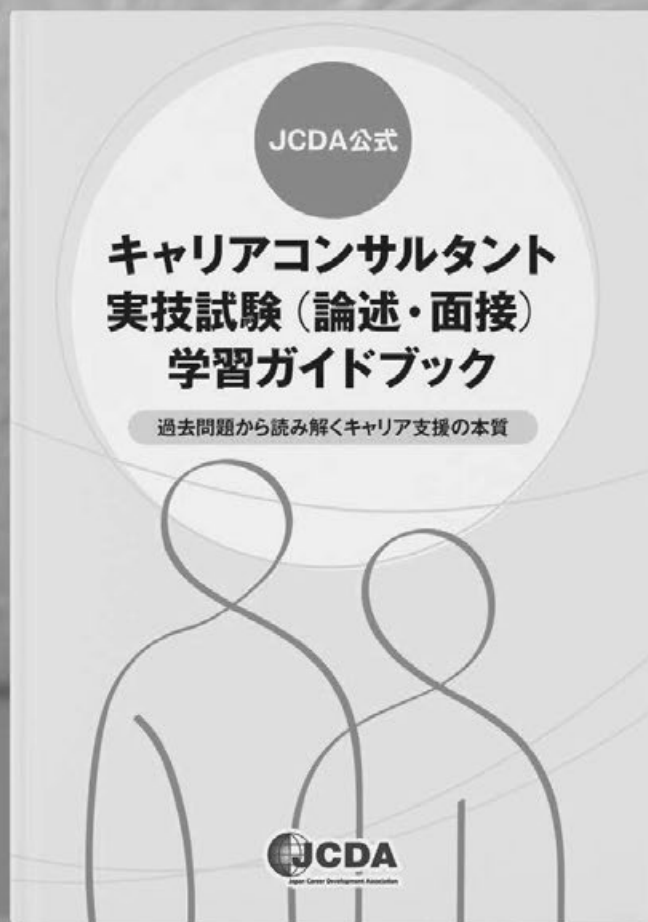
お問い合わせ先：Email: jimu-kyoku@life-career.or.jp

公式 HP : <https://www.life-career.or.jp/>



2025年10月 新刊

JCDA が公式に発行する、キャリアコンサルタント実技試験（論述・面接）を題材とした学習書です。キャリア支援の実践において大切にしたい視点や考え方を整理し、理解を深める手がかりを丁寧に解説しています。試験対策に向けての知識習得にとどまらず、キャリア支援の本質に立ち返り、意図を持った実践や姿勢の深化を促します。キャリア支援に真摯に取り組む方にぜひお読みいただければと存じます。



JCDA
公式

キャリアコンサルタント 実技試験（論述・面接）学習ガイドブック



過去問題から読み解くキャリア支援の本質

第1章 キャリアコンサルタント試験概要

第2章 試験に向けての考え方

技法を超えて“意図ある実践者”になるために、キャリアコンサルティングのあり方について初学者が抱きがちな誤解を取り上げ、その背景や影響をひもときながら、それらをどう乗り越えていくかを具体的に解説しています。

第3章 論述試験

試験特性、出題形式、試験に向けての準備のポイントを示したうえで、3回分の過去問題を掲載。それぞれの事例や問いに対する考え方について詳しく解説しています。

第4章 面接試験

3人の相談者役とキャリアコンサルタント役との逐語記録（計7ケース）を紹介。同じ相談者に対してもコンサルタント役の関わりによって展開が異なる点を示しながら、逐語記録の応答に対して「評価者視点の解説」を掲載しています。各ケースに対する「講評」も掲載。

第5章 経験代謝

相談者が自らの人生を紡ぐ主体として、自分らしい働き方や生き方を見つけられるよう支援するため、JCDA が提唱する学びの構造「経験代謝」について解説しています。

入会のご案内

シーディーエー
CDA (Career Development Adviser) は、JCDA が認定する資格です。誰もが「ありたい自分」を持つという肯定的な人間観をベースに、相談者自らの気づきによって自己概念の成長を促し、「その人らしい生き方・働き方」を支援します。すでに約2万人のCDAが企業、教育機関、公共機関など幅広い場で活躍し、多様性を尊重する社会づくりに貢献しています。あなたもCDAとして共に活動しませんか？

<https://www.j-cda.jp/member/notification.php>



<https://www.j-cda.jp/>

特定非営利活動法人

日本キャリア開発協会



【東京事務所】

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町 2-14-5 KDX 浜町中ノ橋ビル 4 階

TEL 03-6661-6221 (代表)

【関西事務所】

〒530-0047

大阪府大阪市北区西天満 5-9-7 西天満ユートビル 201

TEL 06-4309-6410 (代表)

国家資格キャリアコンサルタント 技能更新講習

平日夜開催

弊社の更新講習は毎月平日夜にも開催しております。お仕事終わりの時間を有効にご活用ください。

オンライン開催

全21講習すべてオンラインで開催しています。オンラインの受講時間2時間からと短時間の講習があることも特徴です。

実務家が運営

実務経験豊富な講師が「明日から実務に役立つ」をコンセプトに運営しております

キャリアコンサルタント技能更新講習一覧

全領域共通

- ◆ エゴグラムと自己理解/キャリア支援に活かすエゴグラム実践編
- ◆ キャリアコンサルティングに活かす「アサーション入門」～自己理解を通して学ぶ～
- ◆ 事例で学ぶメンタルヘルスー自己理解を通してー
- ◆ <初学者対象>事例検討とロールプレイで学ぶ論理療法～イラショナルビリーフの書き換え～
- ◆ 倫理的課題への対応事例検討～現場で生じる守秘義務の例外～

企業領域

- ◆ 新ジョブ・カードを活用したキャリア・プランの作成
- ◆ 働く女性のキャリア支援～妊娠から復職までの就業上の配慮・法令・社会保障と事例検討～
- ◆ 仕事と介護の両立支援～各種支援制度の理解と事例検討～
- ◆ 仕事と不妊治療の両立支援～支援のための基礎知識と事例検討～
- ◆ 仕事と更年期障害の両立支援～支援のための基礎知識と事例検討～
- ◆ 人と組織の成長を支援する構成的グループアプローチ【基礎編】

学生支援領域

- ◆ システマティックアプローチを意識した大学生キャリア支援の実践（問題把握編）

需給調整領域

- ◆ ハートトレーニング（離職者訓練・求職者訓練）におけるキャリアコンサルティング面談の事例検討

キャリアコンサルティングに活かす

「関係構築・傾聴スキル」

～人とつながる神経システムを通して学ぶ～

講師：岡部 道代

最近の研究では、自律神経は3つに分かれると言われています。今心理学で主流になりつつある最新の神経理論（ポリヴェーガル理論）を学び、関係構築に役立て実践していけることを目標とし、人とつながる神経を活性化するペアワークやグループワークを通して傾聴スキルの向上を図ります。

認定時間 6時間

受講料：20,000円

セルフ・キャリアドック導入支援の ポイント

認定時間 6時間

受講料：15,000円

講師：吉田 善実

セルフ・キャリアドック導入の意義とプロセスのポイントを理解し、企業等に対してセルフ・キャリアドック導入の働きかけができるようになることを目指します。
「セルフ・キャリアドック導入支援事業」（厚生労働省委託事業）の推進委員を務められた吉田善実氏を講師に迎え、直接指導を受けます。

キャリアコンサルタントのための ブリーフセラピー入門

認定時間 4時間

受講料：各編9,500円

～悪循環を断つ MRIアプローチ編～/
～解決志向を目指す SFA編～/
～解決志向を目指すSFA 技法実践編～

講師：中村 武美

未来志向のアプローチを学習し、面談での見立て・介入に役立てることを目指します。



【主催】ビヨンド・ワーズ（運営会社 株式会社アイカル）

【開催場所】オンライン

【お問い合わせ先】info@beyondwords.jp

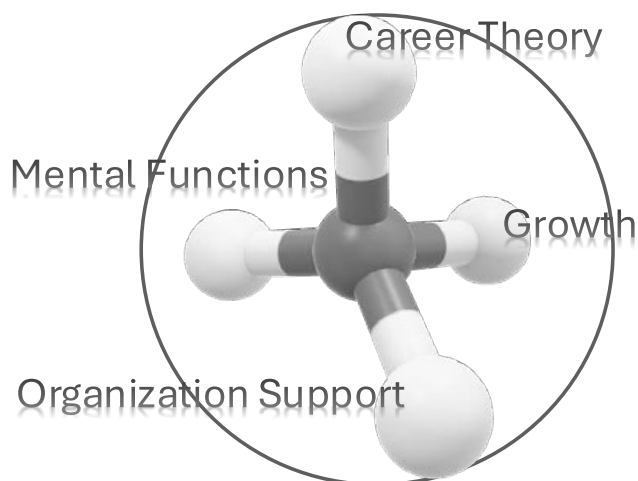
【WEB】https://www.beyondwords.jp

お申込み・詳細はこちら



「人と組織の成長に関わる」について共に考える

あしあとみらい研究所の国家資格キャリアコンサルタント更新講習



株式会社あしあとみらい研究所は国家資格キャリアコンサルタント更新講習(技能講習)実施機関として、キャリアコンサルタントの方々と共に成長できるよう日々研鑽を重ねております。お互いの経験や葛藤を共有しながら豊かな時間を過ごしてまいりましょう。

【主な学びのテーマ】

- ・企業内支援(中小企業、セルフ・キャリアドック等)
- ・キャリア理論の活用(スーパー、クルンボルツ、ホール、シュロスバーグ、ハンセン、サビカス、シャインなど)
- ・グループアプローチ
- ・特定層支援(管理職者、シニア層 など)
- ・ダイバーシティマネジメント支援

開催日などの詳細は以下ホームページをご参照ください。



<https://www.hatarakizama.com/flow>

株式会社あしあとみらい研究所

コーポレートサイト <https://www.ashimira.jp>

更新講習サイト <https://www.hatarakizama.com>

キャリア形成支援、ダイバーシティマネジメント支援、事業承継支援、マネジャー層育成支援、セカンドキャリア支援、組織活力向上支援、理念経営支援、労務管理・各種制度設計支援、諸制度運用支援、キャリアコンサルタント向け支援(カウンセリング、スーパービジョン)

《大学・短期大学・専門学校用検査》

学生の「適応」と「成長」を支援するアセスメント



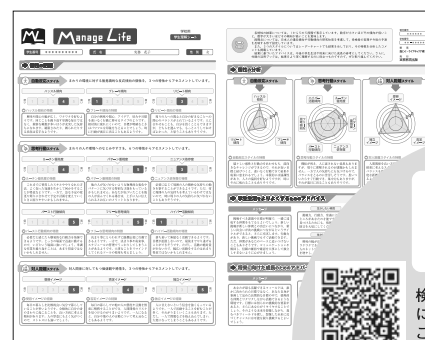
編 脳と心・ライフキャリア研究会

実施時間 30分(用紙の配布等を含む)

対象 大学生・短期大学生・専門学校生

受検料 1,600円(税込)

学生のメンタルヘルスや個性の把握、「適応」と「成長」に向けた支援に役立つ心理検査です。学生一人ひとりの有意義な学生生活とキャリア形成を導くためのツールとして最適。



検査内容や活用方法について、こちらからご覧いただけます。

《個別検査(成人用/学生用)》

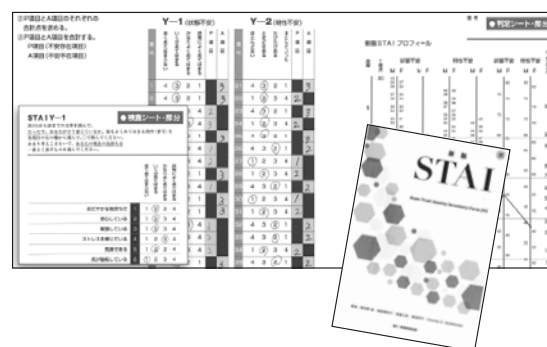
新版 STAI 状態-特性不安検査

State-Trait Anxiety Inventory-Form JYZ

著者/肥田野直、福原真知子、岩脇三良、曾我祥子、Charles D.Spielberger
B5判/複写式・自己採点方式 1セット50部/定価10,500円(税込)

スピルバーガー教授と共同研究で「STAI-Y」を日本語版に改良した不安測定質問紙の最新版。2021年10月に現代の成人データで再標準化を行い、判定基準を一新しました。

これに伴い、検査の解説書である『新版STAIマニュアル』(別売・定価1,100円(税込))も、再標準化したデータを掲載するとともに、より読みやすくなるようデザイン面も改良。臨床・研究にお役立てください。



心理検査のご注文・資料のご請求は、
右記のHPまたはお電話で承ります。

www.jitsumu-kyouzai.com/
TEL. 03-3355-1801 (教育教材事業部)

教材NAVI



※定価は2026年3月31日ご実施分までにつき有効。

実務教育出版

〒163-8671 東京都新宿区新宿 1-1-12

ハラスメント防止教育を通して働く人をサポートする 株式会社キャリア・ストラテジー

👉 アクティブラーニングを用いたハラスメント防止研修

単なるディスカッション、グループワークではない双方向参加型の
「受けて楽しい忘れない！」ハラスメント防止研修

👉 パワーハラスメント行為者行動変容プログラム

パワハラで処分や通報された方のための個別カウンセリング

👉 ハラスメント予防研修

まだ通報されてはいないけれど、数年以内には通報される恐れのある方のための、ハラスメントとは何かを明確にする研修

👉 セクシャルハラスメント行為者対応プログラム

セクハラで通報されたり、処分を受けた方のための個別カウンセリング



ご相談ください！



株式会社キャリア・ストラテジーHP <https://careersg-oneonone.jp>



ハラスメント防止クイズ：徳川課長は「なんだかやる気が見えないな、やる時は全力で取り組んでほしい！」とスタッフのAさんを強めに指導しました。

さて、上記はハラスメントでしょうか？それとも通常の業務指導でしょうか？

ヒント：「やる気」という言葉に注目！ 答えはHP↓「チャレンジハラスメント防止クイズ」から。



ブログ

ハラスメント？うちの会社は特別だから...という考え



ブログ

グレーはブラック、セクハラは危険行為！「セクハラ判定クイズ」



企業様お役立ち情報

チャレンジハラスメント防止クイズ～今週は基礎問題です！



ハラスメント防止教育を通して働く人をサポートする
株式会社キャリア・ストラテジー

〒108-0074 東京都港区高輪2-14-14-504 Tel:03-6676-3926 大阪事務所：06-6628-8789
<https://careersg-oneonone.jp>

*プログラムのお問い合わせ・詳細はHP「お問合せ」からどうぞ！

カウンセラー・キャリアコンサルタント募集中

働く人の“モヤモヤ”に寄り添う
オンライン相談サービス

Smart相談室



Smart相談室は、転職紹介ではなく
“働く人の悩み相談”に特化したオンライン支援サービスです。
キャリア・生活・メンタルヘルスまで幅広くサポートします。

トライアル
受付中

企業・団体様向けに
サービスを体験
いただけます。

カウンセラー募集

オンラインで活動いただけるカウンセラーを募集しています。
資格取得後まもない方も、経験者の方も安心してスキルを伸ばせます。

Smart相談室で活動するメリット

- ✓ 働く人の相談支援に特化したスタイル
- ✓ 勤務時間・場所が自由なフレキシブルさ
- ✓ 研修・スーパービジョンなど充実のサポート体制

カウンセラー
求人ページは
こちら

<https://herp.careers/v1/smartsou/RzD8zKebFuUn>



株式会社Smart相談室

〒106-6217

東京都港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー

Webサイト: <https://smart-sou.co.jp/>



「キャリアコンサルタント」資格



あなたの「強み」で 活躍の場を広げませんか？



かける X 更新講習

LECの更新講習は支援現場の「リアル」を反映！
公共（厚生労働省・自治体等からの委託）事業
での実績に基づく、中身の濃い講座を開講！



かける X 1・2級技能検定 対策講座

オンライン（Zoom）だから全国で受講可能。
個別ロールプレイ指導もあり！



かける X Wライセンス・ トリプルライセンス

FP・社会保険労務士・中小企業診断士・
社会福祉士など活躍の場が広がる資格の
講座が多数！



LECは、

学ぶ

資格を通じた
スキルアップ

働く

ライフ
キャリア

を一貫してサポート
している会社です。

LEC 東京リーガルマインド
www.lec-jp.com

日本キャリア・カウンセリング学会

＼ 入会のご案内 ＼

サービス（個人会員様）

学会誌の配布やメールニュースの配信／研究論文の投稿や大会での発表／学会が主催する養成講座や研修会への会員価格での参加／委員会への加入／総会への参加／大会スタッフ等のボランティア活動への参加。

入会方法

学会オフィシャルサイトの入会
方法を確認のうえ、指定のフォー
ムよりお申込み下さい。



学会の歩き方

より詳しくお知りになりたい方
は「日本キャリア・カウンセリング
学会の歩き方」がおすすめです。



個人会員の入会には、原則として役員1名あるいは正会員2名の推薦が必要となります。
お知り合いに推薦者がいらっしゃらない場合は、スタッフまで、お気軽にお声がけ下さい。



JACC 日本キャリア・カウンセリング学会
Japanese Association of Career Counselling

<https://jacc.or.jp/>

～日本のキャリア支援室を創る～ 企業内キャリアコンサルタントの寺子屋 オンラインコミュニティ

登録
無料



企業内のキャリア開発支援に関心のある方や課題をお持ちの方を対象に、育成から活躍のご支援までステージや目的に応じて、最適な情報や機会を得られる、オンラインコミュニティサービスを目指します。

URL <https://career-terakoya-online.com/>

有料 法人Premium会員向けサービスのご紹介

学びの場

- 企業事例勉強会
- 専門家による勉強会
- 個別SV など



繋がり

- 企画担当者向け相談会
- 相談担当者向け相談会
- 課題別情報交換会 など



実践の場

- 会員間でキャリアコンサルティングを実践し合う場
- プロとしてのキャリアコンサルティング実践の場



特典

- キャリアコンサルタント養成講座(総合)特別割引価格でご提供
- キャリアコンサルタント更新講習(知識講習)特別割引価格でご提供

「学び」「繋がり」「実践」の場、そして講座受講の際の特典を提供することで、キャリア支援担当者の知見や経験不足、能力維持・向上の課題を解決します

詳細&資料





一般財団法人 ACCN

みんなの「生きる」を キャリアでつなぐ。ACCN

ACCNは、国家資格キャリアコンサルタントの職能団体です



ACCNは会員の皆様と共に

職業人生の長期化の中で、多様な働き方に寄り添うために。

全ての人が自らキャリアを考え生きる社会を作るために。

それぞれの方の「生きる」をキャリアでつないで応援する団体でありたい。

ACCN は、国家資格キャリアコンサルタントの職能団体です。



入会のご案内

キャリアコンサルティング業務を安心で行うための「会員専用団体保険」から、活動・学びの場や各種情報のご提供まで、ACCN はキャリアコンサルタントの皆様の活動のサポートをいたします。詳しくはサイトをご覧ください。

<https://www.allccn.org/>



エーシーシーエヌ
一般財団法人 ACCN

〒105-0021

東京都港区東新橋2-11-7 住友東新橋ビル5号館9階

TEL. 03-5402-3392 (平日10:00~18:00)

support@allccn.org

